(明治三十九年八月十日第三種郵便物認可)

京城日報

(年中無休刊)

定價 一部金參錢 一箇月金七十五錢 ▲前金 六箇月前金 ▲ 一箇年同 郵券代用二割増

廣告料 五號十四字詰一行金一圓五十錢 ▲特別 ▲ 二號七字詰同 ▲四號九字詰同 ▲六號十六字詰同

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 長六千九番 振替京城三〇〇番

八月三日夕刊 (朝刊併せて八頁)

山東還附聲明 ＝內田外相公表＝

二日開催せられたる外交調査會に於て山東還附聲明に關し協議ありたる結果同日午後四時に至り內田外相は左の如き發表を爲したり(東京特電)

去る五月五日我全權委員は巴里に於て聲明書を公表し予も亦五月十七日新聞記者との會談に於て之れを全然確認せるに拘らず山東問題に關する日本の政策は尙ほ未だ十分に諒解せられざる所あるが如し帝國政府は一千九百十四年八月十五日獨逸政府に致せる最後通牒中膠州灣租借地全部を支那に還附する目的を以て一千九百十四年九月十六日限り無償無條件にて日本帝國官憲に交附せんことを獨逸に要求せるは世人の記憶する所なるべし要求條項は支那其の他各聯合國より曾て何等の抗議を招きたることなし日本は今や同一方針に基づき膠州灣租借地が無償無條件にて日本に引渡さるべきことを要求すると同時に一千九百十五年支那政府に與へたる契約を遵守し該租借地全部を支那に還附せんとするものにして日本に於てベルサイユ條約を批准せられし曉は該契約實行上必要なる協定を遂げんが爲め支那政府との間に協議を開始するを躊躇せず而して日本は山東省に於て支那の領土主權に影響すべき何等の權利を保有又は保存せんとする意圖を有するものに非ず五月五日の牧野男の聲明中『日本の政策は山東半島を其完全なる主權を有する支那に還附するにあり日本の保持せんとする所は單に獨逸に許與されたる經濟上の特權に過ぎざること』の一節の意義は何人も明瞭なるべし即ち膠州灣の還附に關する協定日支間に成立の上は同租借地及び高濟鐵道を守備する日本軍隊は全部撤退せらるべし又高濟鐵道は日支共同の事業として經營せらるべく何れの國民に對しても何等の差別的待遇に出づることは無かるべし加之日本政府は青島に於ける一千九百十五年の日支協定に依り當然主張し得る日本專管居留地設定の代りに各國共同居留地を設定するの議に就き目下考慮中なり

日本委員宣言

日本委員は宣言して曰く日本は聯盟規約中より人種差別撤廢案を撤退する代償として山東を獲たりと云ふは事實無根なり(巴里電報)

聯國オ政府援助
コルチャック獨裁官の要求

オムスク通信に依ればコルチャック獨裁官はオムスクに在る佛國ヂャナン將軍駐日米國大使モーリス氏及び聯合各國代表者を介し聯合各國のオムスク政府に對する援助兎角遲々として捗らず斯ては自分は到底露國復興の大任に膺る能はず寧ろ獨裁官の職をデニキン將軍に讓らざるを得ずとて速に十分の援助を爲さんことを求めたれば各國代表者も大いに之を諒とし各本國政府の名を以て應諾の旨を明言し直ちに借款條件の作製に着手せり尙ほオムスク政府は此の際閣員の更迭を行ふ筈なるが各候補者は何れも歐洲各國間に名を知られたる有力者なりと(東京特電)

新督軍印綬授受
和平確立と馬賊隊解散問題

一日午後五時半來長せる張黑龍軍參謀長賈參謀、土肥原顧問等は同夜孟前吉林督軍と會見の結果愈々和平確立せり其條件は孟氏の私有財產は其の儘孟氏の所得として敢て張氏其他の猜覦を許さず又高士儐氏の罪は最低限度に止めて追窮す可らずと決定せり右決定の爲め入長を見合せ居たる鮑督軍は愈々三日來長孟氏と會見の上督軍の印綬を授受するに決定せり之に由りて先づ東三省の平和は回復したるものと見るを得可きも新券の馬賊隊は奉吉兩省兵此際直に解散さるべきを以て地方の安寧は蓋し保持し難かる可し吉林軍は既に二日より馬賊軍の解散を斷行し金鼎臣、劉蔭明頭目部下に對し月給の外三萬金を出だし交附せる武器を返納せしめ同時に續々解散せしめつゝあるも尙奉天より武器を携帶し逃亡する者少なからずと(奉天特電)

孟恩遠張參謀長會見

二日朝來長せる張黑龍軍參謀長は孟恩遠氏と道尹公署にて會見せしも張參謀長は鮑督軍來長に就き護衛として二箇營の部下を引率する事の承認を求め孟氏之を諾したるが督軍印綬の授受に就きての條件等は協議せず萬事は鮑督軍來長の上にて協定する事となれりと(長春特電)

鮑督軍來長

鮑督軍は三日午前八時哈爾賓を發し午後五時半頃來長の筈なるが約一千の部下を引率する事とて我滿鐵附屬地を通過せず長春驛より直に吉長鐵道に乘替へ東門外の同鐵道長春驛に下車する事となれり(長春特電)

樞密院委員會

樞密院にては二十九日の特別委員會を以て總督府官制改正案に對する意見決定し政府原案を修正する所ありたるが之に對し政府側より更に意見の提出ありたるより右に就き四日再び委員會を開催すべし(東京特電)

滿鐵 傭人優遇
中西副社長談

滿鐵にては八月一日より月收三十五圓以下の傭員職工日本人二十錢支那人八錢宛日給の增給を行ひ此費約四十萬圓を計上せるが本月十六日傭人の定期昇給に當りては前例無く多額給與の筈にて朝鮮人を合せ傭人定期昇給費約七十萬圓を計上せり更に新幹部の就任の際宣言せる社員待遇法の改善に關し人事課に於て專任調査委員十六名を選出し歐米諸國及び東京大阪等の各官公署銀行會社等の待遇を實地に調査し猶之に滿洲の特殊事情を斟酌し最善の待遇法を發表す可く其時期は約三箇月の後なる可し滿鐵現今の待遇法は會社創立の際に制定せるものを基礎とし臨時手當等の姑息的增給を爲し全く時世に適せざるものを以て今回の改正は根本的新待遇法にて日本第一の多數社員を有する會社として他に先だちて現下重要なる社會問題の改善の範を示すの覺悟なりと尙ほ中西副社長は『今調査中の待遇法は日本人現下の物質生活及其前途を豫想して我々が最上と信ずる待遇法を發表の曉は必ず

滿鐵五萬

の社員の滿足を得る所なるべく之にして若し尙不滿を懐へる者あらば夫等は一種の過激派なるを以て會社は斷然たる態度の下に姑息の要求に應ずるが如き事無かる可し八月一日及び十六日の下級社員の優遇は新待遇法發表迄の一時凌ぎにして新待遇法は更に給與の增加となる事となるべし』と(大連特電)

釜山米界閑散

內地期米軟弱の報に人氣安含みとなり相場三十錢方下押し商內は至極閑散にて僅か二三百叺に過ぎざりき(釜山電報)

賃金改正豫調
電車乘客調査

京城電氣會社にては八月五日より隔日三日間其の乘車區間の乘客數を調査する目的にて乘客は乘車に際し係員より所定の票を受取り降車に際し再び之を係員に交付する事とせるが多分賃金改正の豫調ならん

京城 株式內氣配

京城株界は勞働界の不安買ひ騰らず等の事情にて大勢保合を續け居り此の盛許何等か新規材料出でざれば保合破れを見ざるべき乎日曜の京城株界は極めて閑散にて殆ど手合せなく東亞新の株利も月曜頃より商買さるべきも募入方法の確報來らず旁望み人も形勢觀望の模樣にあり仁取は實質樂觀され居れども値の張れると此上の上値嫌氣なるかの感じは買氣の勢を妨げつゝ能並に增員仕買の銘柄發表を待ちつゝあり目先東亞新株以外に特記すべきものなかるべし尙四日より公募すべきツルチュク株の公募は常に行はざる曖昧なりと

全國材木商大會
第二日目　於新義州公會堂　特派員

二日午前九時より開會の筈なりしも鐵橋開閉機に故障あり遲れて同十一時半開會

村田會長

議長席に就き同會長より第二十回大會に於て松波農商務省林務課長を名譽會員に推薦したる前例に倣ひ今回は中村、川瀨の兩林學博士及び大會に特に非常の盡力を致されたるのみならず夙に木材界に於て名聲嘖々たる永田正吉君を滿場一致を以て名譽會員に推薦したしと諮り滿場拍手喝采の裡に之を決し次に本回の大會に於て甚だ悲しむべき事件を報告するを遺憾とす實は昨日の第一日の會場に於て朝鮮側の委員上林氏急病に罹られたるが當日會場の救護所に於て遺憾なき

救急處置

を執りたるに拘らず同夜遂に不歸の客となられたり依つて本會は會員一同を以て其の遺族に對し追弔の意を表したしと諮り之れ亦異議なく弔文其他一切の事は會長に一任する事に決定、今回の大會に際しては特に滿洲方面に於ても多數の入會者あり一時に百名以上を增加する見込みなるを以て活動上の便宜の爲め取り敢ず安東縣支部を設立したく追々は大連、長春、奉天等にも支部の設立を希望すと述べ滿場の賛成を得て降壇長谷川副會長代つて演壇に上り此の大會の機會に於て大正七年十一月より大正八年八月迄の

事業大要

及び決議報告を爲すべしとて所要の報告をなし、大正八年二月本部の委託を受け水難救護法の改正法律案に關し國務省に建議請願したる顛末等と折衝したる顛末を報告し、安州木材調査の件は目下其の調査事項の印刷中なるを以て不日其の調査要綱を頒布を以て報告すべしと述べ會費徴集上の困難其の改善及び本會の基本金蓄積に關する方法を諮りたるに遂に會長に一任して各府縣より各一名宛の委員を指名推薦して、本會の將來に於ける

活動方針

を研究すると同時に基本金を會費增徴法に據るか寄附金募集を執るかを決定する事に決して直ちに議事に移り朝鮮支部の提出にかゝる滯貨の整理及輸送機關改善に就き當局に請願の件を議事に上せ朝鮮支部の代表者として朝鮮製紙株式會社の吉岡連氏簡單の說明をなし議事を進行せんとしたるも時間の都合により之を中止し晝食を取りて少憩午後二時引續き開會議事を續行したり長春彼末氏は本問題は安義一地方問題に係るものと思惟すハルビン長春間に五萬噸東清線に三萬噸吉林線に於て三萬噸の木材滯貨あり、依つて本問題は單に安東、新義州又は滿鮮の一地方小問題とせずして最も廣義に解釋して

南北滿洲

を一括したる問題として解決せんことを希望すと述べ二三の質問應答ありたるのち此の提案を採用することに決し議長の指名により北滿、南滿、朝鮮に各五名を指名し後刻報告し其の調査研究の結果を本部の名により建議の實行を期することに決定す(以下朝刊)

森林鐵道進捗

大川平三郎下郷傳平氏等內地一流實業家並びに京城津田鍛雄氏等の發起の下に咸興より帶線江岸厚州に至る廣軌式輕便鐵道の新設經營並に國有林の伐採を行ふ朝鮮森林鐵道は六月會社令による許可あり最近京城の津田氏も東上して發起人間の打合せ協調を進めたるが最近に至り五十間株二十萬株中東洋拓殖會社の持株は五萬株乃ち四分の一と決定せしものゝ如く又十五萬株中十四萬は發起人並びに贊成人等に於て引受け殘餘の一萬株を一般公共事業たり又國庫の七朱補給を受くる關係上一部資本家に於いて株式を獨占するは不可なりとし東京信託會社を通じ多分本月中旬若くは下旬內地並びに朝鮮の市場に公募すべく右を終りて第一回拂込金一株につき五圓(鐵道株は四分の一拂込み)を徵し會社の正式成立を見るは諸種の都合上九月末若くば十月となるべしと又一方發起人の一人たる鴨江製紙重役長谷川氏は數日中東京より入城當府との間に要務を終り直ちに北行して森林鐵道經過地の實地踏査を行ふべく續いて相當の班を組織し豫定經路の測量森林地帶の調査を行ふ豫定の由

京城正米市況

內地正米の反騰と旱魃懸念とにより前月下旬以來上げ足急となりし地場正米も去る一日の降雨に人氣を幾分緩和されし機先內地正米亦安報を移し且つ頃よりの相場の暴落と共に市況は漸次軟化の振合ひを示し相場も本月始めの地掛相場力上米四十圓五十錢を天井として利來四十五錢を唱へに見送り商状を呈し居れり河筋物は昨今値頃手放し物の廻送も益々ありと雖も未だ安値には應ぜず此處買人が何共に內地の成行きと眼先の天候を觀望せる爲め取組みとしては僅に必要節の小口商內あるに過ぎず而して眼先の成行きは人氣時代なる丈けに此旱魃適雨を得ん乎其反動は可なり大なるべく一面無賃輸送の影響も追々效果現はれ來らん模樣なれば近く形勢の大轉換を來すや測り難く當業中此の邊大天井と觀測するもの少からず

仁川期米 日曜內氣配
二三十錢安

午後場阪地電報の延著にて市場一般氣迷ひの振合なりしも丸ウ角十一中先乘晉府勢を始めとし旱魃見越し買物各店より現はれ二十錢より六十錢と反撥を演じたるが高値は存外買物添は少く伸び惱みの五十錢掴みにて小戾り合ひの折しも山上丸ヤより大阪寄安を早耳しての賣り物を目待ちの買物と大混戰を演じ結局三十四錢と不勢の成行に散會せしが引跡大阪寄止めの三十七二十一錢と安報を移せしと雖も旱魃見越の旺盛の折柄天候に雨模樣を帶びて來りしため日曜氣配は一段の安唱へにて先限四十二圓見當より崩れの四十一圓九十錢見當を主張する向き多きも直接硬軟の材料とする天候は果して雨か否か一夜に變る夏空の雲行き如何に依りて氣配意外の相場を演ずるならんと觀測されたり

朝鮮藥學會總會

朝鮮藥學會にては本月十七日午前十時より黃金町朝鮮藥學校に於て總會を開く由

▲總會(一)開會(二)事務報告(三)役員選擧(四)議事(五)閉會▲學會(一)開會(二)講演(三)閉會

午後六時半より朝鮮ホテルに於て懇親會を開く由

淸揚閑話

自明の理
江木翼氏

◆◇いや、此間も朝鮮人の紳士とか敎師とかの連中が訪ねて來たので言つてやつた今の時代は奧歯に物の挾まつたやうなことを言つてると誤解が生じて却て取返しの付かぬことになる、だから或る程度迄は遠慮なく言つた方がお互に利益だから明白に言ふが、或は僕の言ふことが君等には喜ばれないかも知れないといふのが僕の前置だ

◆◇夫から僕が言ふには『日本が朝鮮を領有することは東洋平和を確保し朝鮮民族の安寧幸福を招來する上に絶對に必要なことと思ふが異論があるか』と言つたら『異論は無い』との話であつた。次に『朝鮮人千六百萬人の文化を平均して見ると——中には君等のやうに高度の文化生活に堪へ得る人もあるだらうが——日本人の文化よりも劣つてゐる、低い地位に在るといふことは否定す可からざる事實だ、これは君等も承認するだらう』と言つたら『夫はもう、その通りです』との話だ。『然らば現在日本の內地と凡てのやり方を等しくせよといふのは間違つて居る。日本の高度の文化を朝鮮に宣傳して朝鮮人の文化を高めるといふのが日本の朝鮮統治の眞意義だ、だから統治の局に當るものは高度の文化を理解するものでなくてはならぬ、また理解する能力あるものでなくてはならぬのは自明の理だ』といふのが僕の意見だと言つて置いた

◆◇若し夫では朝鮮人の文化が內地と同程度に向上した時にどうするかといふ論になれば、夫は當面の政治問題ぢやない、さういふ事實が發生した曉に初めて論ず可きことで實際政治とは離れて居る、學者論客は勝手に論じてよからうが、夫は學者の論だ。

◆◇併し、私の考を以てすれば朝鮮の統治を內地と同一にするといふことは甚だ行はれまいと思ふ、夫は決して一派の朝鮮人の言ふやうに『朝鮮人をして朝鮮を統治せしむ』るといふ樣な意味では無く、朝鮮の文化の單位が內地と異なり、文化の內容が內地と異なつて居るからである(東京支局)

過激派軍の組織

過激派軍は其組織に就き確然たる事は不明であるが或ひは百萬とも稱されてゐる然し目下の處少くも六十萬は否定すべからざる處である即ち東方はオムスク政府に對抗せしむる爲めに五軍を配し北方は聯合軍に對せしめ其の他ペトログラード方面或ひはエストニヤ軍ヒンランド軍又は小露軍南方軍等多數の軍隊に對抗せしめてゐる一昨年の暮過激派政府が獨逸と

單獨講和を締結する

や戰線に在つた兵士は既に政府の命令等には服しようともせず汽車を奪つて隨意に歸郷するに至つた其の猶戰線に居殘るものは歸郷しても衣食の途に窮すべき十五萬の兵のみであつた過激派政府は已むを得ず新軍急造に着手しなければならない、そこで百方策を盡して募集したる兵士は教育皆無の勞働者を以て其の大部分を占めてゐたのである

西伯利 (11)
參謀本部總務部長 武藤信義氏談
西伯利鐵道と列國の軍隊

西伯利に於ける列國の軍隊は目下英國軍隊が浦鹽に四百名とオムスクに一箇大隊米國軍隊がウスリー全州に一箇聯隊半と貝加爾湖畔に半箇聯隊佛國軍隊は浦鹽に七千名と佛國將校の指揮下に在るセルビヤ兵が一千二百名それからライシュ民族兵が七百名ある伊國軍隊は哈爾賓より浦鹽にかけて五千名ゐて

支那軍隊が

ハバロフスク附近に三箇大隊ゐる日本軍隊は既に知られたる如く第三師團と第十四師團及び第十六師團の一箇旅團が各地に散在してゐるが貝加爾以西即ち西部西伯利に於ては佛國軍隊がオムスクに歩兵一箇大隊と其他工兵一箇大隊飛行機隊等が駐屯しイルクツクにはルーマニヤ軍隊が二千五百名トムスクの南方にはポーランドの千名の軍隊それからクラスネラウスクには伊國の歩兵二箇大隊がゐてオムスクよりイルクツクにかけては

二箇師團の チェック

スロヴァック軍がある其の他日本軍隊を除く外國の軍隊は約七萬散在してゐる斯うして軍隊の配置に就ても甚だ複雜な感がある此時に列國の西伯利に對する思考は果して如何なるものであらうか實に露國の秩序恢復といふ事に就ては如何に其の復舊なるかを考へやによるられない

八面鋒

◆北京政府恰も如夏雲形勢刻々變轉す奇峰妙趣見だに暑し
◆護止式總理承認一總何うなる事か政府飽迄斷の一字を缺く
◆安福派に氣發し國會に氣發し氣發々で懊惱す政務不振當然
◆支那時局問題總多難前門の虎挑ふ能はず後門の狼殺到す
◆虎狼の攻擊に遭て進退谷り
◆日獨秘密條約些の根據無し而し米紙之を打消す巖談も甚し
結局列國の御厄介とはサテく
◆他を傷けんとする者必ず禍其身に及ぶ糞土の牆塗る可らず
◆埃香員一週間の調印猶豫を乞ふ果して善き智慧出づるや否
◆何れ戰敗の埃國物の價を値切るは必定歸國其手に乘る勿れ
◆孟張妥協成るも將來の變測り難く之れも金故とは情無！
◆烏合の軍隊戰ひよりも先づ金也殊に匪賊の馬賊に於て然り
◆馬賊孟軍を解雇されて掠奪を擅にす後始末は何人の責任か
◆旱魃相場で米價又飛騰す恐ろしくも物凄じ昊天惠を垂玉へ
◆慶大野球團は天下の戰士也球界の權威也艇軍厚く歡待せよ
◆試合中以外言はず宜しく辭を卑うして敬を諸ふべきなり
◆暗雲雨を含んで蒸熱身に迫り風無く沛潤の發徒に暮し

人事消息

▲有賀長雄氏(法學博士北京政府顧問)三日朝入城天眞樓へ
▲島安次郎氏(滿鐵理事)三日退城

小原長官歸任

全國木材商大會の爲め安東縣出張中なりし小原農商工部長官は二日朝歸任せり

辭令

左の辭令ありたり

大邱地方法院判事 文錫圭
補大邱覆審法院判事(九級俸下賜七月卅八日附)

◎總督府給仕募集

總督府にては年齡十四五歲にして尋常小學校卒業以上の學力を有する者を給仕に採用する由志願者は自筆の履歷書携帶總督府受付に出頭すべしと

廣告

八月一日より左の通り改定仕候

一、ワイシャツ 二十五錢 三十錢 三十五錢
二、夏服(巡查看守服 三十錢 縮リン 四十錢 本リン麻服四十五錢以上)
三、學生服 廿五錢
單衣 十五錢以上
縮ひこへ 廿錢以上
メリヤス 十錢

八月一日
京城 西洋洗濯組合

名刺
京城長谷川町 中田啓成社
電話二〇五番 振替京城四七六二

最新刊

福田德三著	黎明錄	定價一圓九拾錢	送料十二錢
帝國稅法論	鈴木繁六	一、五〇	一六
科學と宗教	赤松智城	二、四〇	一六
ゲリム物語	通俗教育會	一、五〇	一六
法華經要義	清水龍山	二、九〇	一二
歐米教育印象	野上	一、二〇	〇八
質的唯物論	有馬	二、八〇	一二
財界夜話	下田將美	一、八〇	〇八
英文法	米井武郎	二、三〇	〇八
社會運動と民主思想	今井	一、九〇	〇六
基督教の新建設	久布白	一、五〇	〇八
西行	上野松崎	二、二〇	〇八

最も易く興味ある 三上義之助著 圖解の算術 八十五錢 送六錢

朝鮮總督府編 朝鮮金石總覽 定價六圓七十錢 上下二冊

殘月	長田幹彥	一、六〇	〇八
	渡邊霞亭	一、六〇	〇八
繪日傘	村上	一、六〇	〇六

京城本町一丁目 大阪屋號 電話六四番 振替京城一二五七番

有效確實ニシテ價額ヲ押セル
マラリア特效丸
定價表 金拾錢 貳拾錢 參拾錢 五拾錢 壹圓 郵稅金貳錢
販賣店 各地有名藥店
本舖 龍山元町二丁目 林藥房
代理店 京城本町一丁目 山岸天佑堂
代理店 釜山辨天町 大黑南海堂
代理店 平壤大和町 森田草藥堂

東京三金の靴

ボックス革編上 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス革短靴 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包郵便にて御送附申上候
▼革見本寸法用紙付目錄進呈
▼御希望の向は特別割引
▼卸賣御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七二一三

▼鮮滿を風靡する パイン萬年筆の權威

綠 出	八圓八十錢
綠 出	六圓八十錢
短 軸	四圓九十錢
實務用	三圓八十錢
學生號	二圓八十錢
事務用	一圓九十五錢
新製品吸入式	五圓八十錢

▼萬年筆の名は パインに依りて愈高し▲
發賣元 京城太平通り 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 電話六一番
院長 醫學士 村上龍藏

石丸製
▲警務總監部認可▼
衛生無害
蠅取散 定價壹個 拾五錢
完全無缺ノはえとり劑▼
蚊取粉 定價壹袋 貳拾錢
▲効力無類ノ大德用品▼
◆御物品アリ御求メノ際ニ石丸名儀ニ御注意乞◆
◆各地藥店雜貨店ニアリ品切ノ際ハ弊店ヘ直接御注文乞◆
全鮮一手販賣店 京城黃金町三丁目 上田商會

雨覆シート廉價調製需に應ず
營業所 大阪市西區南堀江下通り二丁目
綿帆布 撚糸 商 大谷商店 電話西二八九九番
工場 大阪府東成郡榎並町

謹告
弊社電氣鐵道乘客乘車區間詳細調査致度來る八月五日より隔日に三日間調査可致候間乍御迷惑左の事項御了承の上御乘車被成下度願上候
一 御乘車の際は係員より御一人に付票一枚宛御受取を願ひます 但し雨天の節は順延可致候
一 御降車の際は此れを係員に御渡しを願ひます
一 乘替並に乘繼の御方には御持ちのまゝ降車し他の電車へ御乘車を願ひます
一 平日發行の乘替切符は當日に限り發行致さず乘車票を以て代用致しますから車掌に收鋏を申出られたし
大正八年八月三日
京城電氣株式會社

建築技術員及工夫採用
一、建築技術員 工手學校程度若ハ其ノ以上ノ卒業者又ハ之ニ準シタル程度ノ學力アリト認ムヘキ者ニシテ設計及監督ニ三年以上經驗ヲ有スル者
二、建築工夫 建築ニ關スル相當ノ素養ヲ有シ且三年以上工事現場ニ從事シタル者
三、前記技術員及工夫ハ身體强健ニシテ年齡二十五歲以上五十歲以下ノ者ニ限ル
四、採用志願者ハ來ル八月二十日迄ニ本府土木局營繕課宛履歷書ヲ送付スヘシ 但シ遠隔ノ地ニ在ル者ニ對シテハ召喚旅費ヲ支給ス
右履歷書ヲ送付シ來ル九月十日迄ニ通知ヲ受ケサル者ハ採用セサルモノト心得ヘシ
大正八年七月 日
朝鮮總督府

過激派討伐不利を傳へられつゝあるオムスク政府のコルチヤツク氏

巴里談語

元氣な人不元氣な人

滅切年老つた伊國首相　慰安を持たぬ我が使節

本社特約員　上田碩三

獨逸の講和條件對案に對する聯合國の回答は愈々六月十五日の午後六時に手交され其の翌日は土曜で呼び寄せてあつた土耳其の代表員に

一寸顔を見せて貰い、さて其晩になるとウイルソン大統領は夫人同道でアラツセルに出掛ける。其翌早朝にはロイド、ヂヨーヂ氏がヴエルダン見物に出立し、伊國のオルランド氏は之より先既に自國內政のため羅馬に歸り、殘るはクレマンソー翁と我が全權ばかり、從つて今日と明日は、さしもの巴里會議も宛然ガラ明きの姿。會議も彼是最早六箇月、悉く皆

五十を越した老年の各國全權として相當身體にもこたへた様で、就中ビツグ、フオーアに至つては始めこそ日曜も休んだが最近の一二箇月は殆ど日曜無しの精勤で殊に問題は益々混がらかつて熾熱されて來るから堪らない。幸にして誰一人病氣になつた全權もないが疲勞は免れない、就中伊太利のオルランド首相の如き先週羅馬に歸るのを停車場に見たが顔の當初見た時より餘程年を老つて見えた。ウイルソン大統領は

フユーメ問題以來さすがに心身の疲れは爭はれず會議の當初見た時より餘程年を老つて見えた。ウイルソン大統領は相變らず元氣は元氣だが會議の當初ツヤツヤと光つて理想に輝いて居ると見えた其顔色も黑ずんで何時の間にか褪めた様な眼光は動もすれば神經衰弱らしい一種の險を交へて來た樣に觀察した

最年長のクレ翁は亦相變らずの大元氣で疲勞の色なきにしもあらずだが、二日のお休みを前後するかと思ひきや、講和會議のため暫く見なかつた內政を英米全權の居ない間に片附けやうとて大車輪の働きは全く感心せざるを得ない、ロイド、ヂヨーヂ氏に至つてはビツク、フオーア中最も精力絕倫、全く疲勞の色もなくお國特色の赤い頰は益々赤く

其の象の眼は益々像らしい餘裕を發揮して居る、何樣此暑いのに乾き切つた佛國の野に名物の砂塵を浴びてヴエルダン見物とは、若い者でも一寸逡巡すまじき度胸の試驗した者は一寸逡巡すまじき難物であるが、それを物ともせずに六臺の自動車を列ねて二日內殆ど乘り詰めの行をやらかさうと云ふ、元氣と證力との點は、さすがにスポートを以て鍛へ且つ『悠々迫らず』而も健實』なる英國紳士の特徴である

我全權諸公に至つては決して他の全權に劣らぬ元氣で、國侯の持病の外は誰一人病氣もなく牧男、珍子、以下皆取立て疲勞の色にも見えず孜々として精勵なるは誠に喜ばしい。若し夫れ歐米各全權が等しく巴里の假寓とは云へ、殆ど皆家族を伴なふの便あり、會議折衝の間家庭の樂あり、其の他一般の生活は自國に居ると異なるなく或は日曜のゴルフあり、テニスあり、其の間自ら

心氣の轉化あつて元氣を恢復するに反し我全權に至りては全く家庭の樂みなく無味乾燥のホテルにボーイを對手の生活に加ふるに日曜のスポートを知らず偶々の散策とては近郊に自動車を驅るが關の山で唯一の消樂として不健康なる圍碁はあるが牧野男首め巴里以來全く之を止して居ると云ふ有樣、珍子は時々キユーを撚いでシヤンゼリーゼーの

記者俱樂部に行つてコツリ〳〵と球を突くこともあるが餘り心氣の轉換にはなりさうにもない、其他の全權、隨員、陸海軍、乃至實業委員皆之と云つて娛樂、驚散、慰安と云ふべきものを持たず每日冗々として其れを大した疲勞も見ないのは日本人の慣習とは云へ、感心にも思へるが又同情にも値する（六月十七日巴里にて）

老後の樂は　孫の教育

東上途中の大迫大將

前學習院長退役陸軍大將大迫尚敏子は向一（三）、健二（〇）の兩愛孫、夫人並に女中二名を伴ひ二日朝下關に現はれ『老後の樂みは此の孫の教育をすることでせめて幼年學校に入學させる迄私の餘命を保ち度いと思つて居る、今郷里から上京する所だ』と老顔に微笑を湛へて語れる聽てその巨軀をプラツトホームに運び午前十時發列車にて東上せり（下關特電）

廉くて旨い馬鈴薯飯

少し手數はかゝるが　値は先づ米の半額

下葉驅農務課にては馬鈴薯飯の試食會を催しましたが右製造法を聞くに大粒の馬鈴薯を取り庖丁にて

皮を剝きたるものを二三分位の米粒大に細かく切りて清水に浸し二時間を經る時に清水は混濁しますから之を洗ひ流し、同時に底部に沈澱する澱粉を副産物として採取して得たる切薯を笊に入れ煮沸湯中に投じ攪拌する事約二回、再び煮ゐるを見計らひ沸湯中より笊に引揚げ後之を乾燥するものです夫して炊込む前、一夜の間水に浸して置くのです、其炊込割合は

米一升に對し製品百匁を用ゆる時は釜增し約二升の容量となり、卽ち製品百匁を米一升に相當するのです右製品の收支計算を示せば、原料馬鈴薯一貫匁より製品五十匁を得る故に、假に原料一貫目十五錢、剝皮料三錢、薪代三錢、器具料三錢、合計廿四錢として計算する時は製品百匁（十八錢）は白米一升五十錢と見積ると、白米一升の

約半額辨ぜられるのみならず馬鈴薯は殆ど其の混入を認め難く、且つ豆粕飯の如き臭氣なく、齒當り亦宜しきを以て一般の歡迎を受くる事疑ひなかるべしとの事です

改革後の文展審査員

新官制案が通過すれば

中橋文相が大英斷を以て文展に新空氣を一新しやうと企てた審査員官制の

改革案は既に法制局を經て閣議に上つたが若し此諸案が無事に通過して發表されることなれば茲に本年度文展審査員の大異動を見るとになろう、局は此の大異動を果して何んな風にやるか先づ第一部日本畫の方から豫測して見ると、現在の委員八名の中東京派の川合玉堂、小室翠雲、小堀鞆音、荒木十畝の四氏と

京都派の竹內栖鳳、菊池契月、山元春擧の三氏とは到底動かし得ないところで可能なのは只今泉作氏一人だけである之に缺けた寺崎廣業、高島北海兩氏の椅子を加へると定員十人と見て新顔は三人となる譯であるが、その一人として結城素明氏の任命は殆んど既定の事實と見て差支なく他の

適任者として鏑木清方、橋本關雪、都路華香、松林桂月、中川忠順の五氏がある順序から云へば清方、關雪若しくは華香氏であるが南畫家を入れることなれば桂月氏、學者側から持つて來れば中川氏が入る事にならう夫から第三部

彫刻では森博士以外の委員高村光雲、白井雨山、新海竹太郎、朝倉文夫、北村四海、山崎朝雲、米原雲海七氏のうち高村、白井、新海、朝倉四氏は動かぬところで新顔として北村西望氏の任命は疑ふの餘地がなく場合に依つては順序として更に島大夢氏も入ることにならうが二氏が入れば當然現審查員中二名の隱退を見ることゝなる譯であつて誰れと入れ代るかは彫刻界の面白い懸案である（東京）

西洋畫では學校派の黑田清輝、岡田助三郎、和田英作、藤島武二、南薰造の四氏は此種の改革位では先づ動かし難く和田三造氏は動かし難く他に太平洋系の中川八郎、滿谷國四郎、中村不折三氏の內滿谷中村二氏の形勢頗る危險とあつて合せて三人の新顔を入る、勘定になる、候補者として

學校派に長原止水、大田喜三郎、金山平三の三氏がおり太平洋系に石川寅治氏がある譯であるが、以上の三氏があるにして十八人とすれば圓滿に收まる譯である、當局には二科會から石井柏亭、安井曾太郎二氏を美術院から山本鼎氏を拔く案もある樣であるが、石井安井兩氏は決して應ぜぬと言明して居るし山

海水浴禁止

虎疫猖獗の爲

大連にてはコレラ猖獗の虞れある爲め二日より海水浴を禁止されたり（大連特電）

國境警察　虎疫に備ふ

斷じて侵入を許さじと

平安北道　平安北道警務部にてはコレラ豫防に關し當面施中なりしが、新義州及龍岩浦に於ては支那各地より入港する船舶に對し警戒處置として左記の通り嚴重臨檢の上患者の有無を精査し容疑の死者又は患者を發見したるときは直に公醫警察醫をして檢診を行はしむ

一、鮮人取締汽車乘込警察官に於て特に旅客の健康狀態に注意し吐瀉患者其の他容疑の患者を發見したるときは新義州驛に下車せしめ相當措置を爲す

安東縣　安東警務署に於て執らんとする防疫處置の概要は次の如し

一、七月三十日より劉冠山、沙河鎭、安東の三驛に警察官及び醫師を配置し奉天方面より來るへ汽車乘客に對し檢疫を實施す

一、船舶に對しては安東は勿論下流は三道浪頭（新義州警察署管內柳洞對岸）に於て上流は馬市臺（義州憲兵分隊管內西洞對岸）に於て何れも支那官憲と協力し檢疫を實施せんとす但し本件は兩三日中に決定の見込

猛虎小兒を殺す

平安道大同郡大寶面龍潭里七百六十六番地農崔文周の妻は七月二十六日夕方自宅門前に於て遊ぶ我子崔瓊俊（三）を寢かせ置きたるところ同夜九時過一頭の猛虎現はれ瓊俊を咬へ持去りたるより大騷ぎとなり崔文周は近隣の者三十餘名と共に搜索に出掛けし家を距る北十丁の山中に於て屍體を發見せしが瓊俊は左乳下を深く嚙まれ居たりと因に此虎は三日以前江西郡武陵里地方にも出沒したる由

慶北で新たに發見された　新羅時代の古城趾

半月形をした土城で鮮人は之を謂城と呼んで居る

新羅の歷史を以て有名なる慶州郡（邱浦鐵）附近に於て新に新羅時代の古城址を發見したるが最近之が

實地踏査を爲したる慶州公立普通學校長大坂金太郎氏の談を聞くに該古城址は乾川驛の東北方約十餘町の處にありて周圍約一里半月形を成せる土城にして附近鮮人は之を謂城と稱し周圍の土壁は高さ四五尺內外の土を盛上て造られたる所謂鉢卷式土城にして東端に山腹を利用し

階段樣に削りたる削地を設けるは注意すべき築城形式に屬すと云ふ而して此地は大邱路、慶州路、淸道路の丁字形路を扼せる要害にして此の隣接部落を謂城坪と呼ぶ東京雜記によるに驛院の置かれたる處たるべく新羅の名將金庾信が百濟を伐つべく陣したる時謂と化して陣中に飛來れる

百濟王女を捕へたる故事の傳はれるは當に此地なるべしと然らば此古城址は新羅第三十世文武王の時代築城したる前面の富山城の前身と見るべきか或ひは亦謂古城址の前衛たる約一里を隔てたる金尺陵を遺したる民族の居城址とすべきか何れにしても茲に一史蹟を加へたるものにして新羅史研究上價値ある發見と謂ふ可しと（大邱）

耶蘇學校　番人の惡事

二回に千五百圓を竊取

平壤府大寺里八十三番地光成普通學校番人鄭永尙（三〇）は昨年十一月八日午前三時頃平壤巡營里百四十三番地金鳳俊方に忍び入り銀貨一千圓外廿四點此價格三百十五圓を竊取し更に本年七月二日夜中府內大寺里七十三番地耶蘇商尹仲植方の裏口より忍び入り洋靴二百足外現金等を合し千百七圓を竊取し巧に新納屋の

壺の中に藏匿し何喰はぬ顔にて澄し込み居たるが一方は右屆出でに接し八方搜査に努め居たる處犯罪の模樣先年の金鳳俊の被害と同樣なるより遍切り同一犯人ならんと目星を付け極力嚴探中なるが素行不良なる鄭永尙の擧動不審なるより窃に同家の狀況を窺ひたるに必要なき新納屋の入口に

錠前を附し特に針金にて縛しあるにぞ不審を懷き去月二十九日同人の不在中其居に行き事情を訊したるに右の納屋に錠前を附したるは四五日前よりのことにして家人と雖も決して之を開かしめず必要の場合は自ら合鍵を持ちて之を開き他人は一切入居せしめずと云ふに兩刑事は

愈曲者に相違なしと看做し納屋を取調べたる處前記の贓品を發見せしより本人の歸宅を待ち逮捕し取調中（平壤）

虎列拉彙報

奉天益々猖獗　奉天のコレラは益々猖獗にて益々蔓延の兆あり爲に沿線各地何れも檢疫を開始せり

邦人襲はる　奉天在留邦人一名二日虎疫に感染生命危篤なり（奉天特電）

元山の海開

元山にては三日夜海開きの花火大會を催す筈（元山特電）

雷死　平安南道大同郡林原面南日里金昌利の弟金錫成（二七）は去月廿七日午後四時頃平南江東郡晩達面大成里の畑中にて落雷に觸れ卽死したり（平壤）

盆栽陳列會

京城盆栽同好者は三日明治町の杉山邸に持寄りの盆栽陳列會を催した、斯界では玄人に近い連中だけに集まつた盆栽も仲々面白いものが尠くなかつた、出品は二十餘點で出品者は杉山、天野、生島、松尾、今村、横山、鈴木、山口、岸本、中山、絲瀨の諸氏であつた、廣々した廣間、金屏の前に置かれた盆栽を眺めてゐると庭の青嵐が涼しく流れ込む、銷夏に相應しい會合であつた（寫眞は杉山氏の杜松や絲瀨氏の柘榴今村氏の秋草盆山氏の松籟である）

圓に二升の時代

京城の白米又復騰る　明日から四十九錢に

內地では米の無賃輸送を始めたが米價調節の上には未だ左程の影響もないらしい朝鮮としては內地の米價が最も有力な調節資である以上內地米價が強味を示して居る上昨今のやうに照込が酷しくては朝鮮の米價は騰る一方である市內の小賣相場けふ四日から更に一錢方の値上を行ひ一升四十九錢となる相であるのに四十三錢が殺人相場だと云つて騷いだのは去年の事であるのに僅か一年後の本月は既に圓に二升を突破し相な勢ひ所謂細民の生活は徐々脅威されるばかりである

危險な寢床

去月三十一日午後三時三十分大邱發慶州郡西面行き列車が同十時頃慶州郡西面乾川停車場を發し進行中大邱を距る三十七哩五十鎖の所に於て線路上に氏名不詳推定年齡五十位の一鮮婦人が睡眠し居るを發見し機關手は直ちに非常汽笛を鳴らしたるに該婦人は直に起き上り一度は列車の進行を避けたるも再び列車の前方を橫切らんとして列車と衝突し左大腿部に負傷し尙右足首を挫節し其他人事不省に陷りたるを以て列車は運轉を中止し應急手當を施したる後進行したるが被害者は遂に八月一日朝死亡せりと（大邱）

電車に衝突

去三十一日午後四時十五分第九十二號電車が光熙門より義州通りに向け進行中旭町三丁目に於て若草町六十一番地增田他人方雇人元凡伊（一〇）が自轉車にて前面を橫切らんとして電車の腹部に衝突し左頭顱部より前額部に至る長さ二十仙米突、深さ二仙米突の裂傷を負ひ直ちに永樂町本田病院に於て手術を施し後會社側よりセブランス病院に入院せしめたるが生命には別條なきも治療に四週間を要すべしと

職工の變死

平安南道大同郡秋乙美面寺洞居住の山形縣生れ黑田定巳（三〇）は去る三十日午後六時三十分頃煉瓦製造所の作業を終へ歸途人道を通行すべきをケーブルに乘り索條に腰を掛けるたるが車臺は漸次坑口に近づくに隨ひ狹小となり遂に運搬用の漏斗と衝突し頭部を粉碎卽死を遂げたり（平壤）

水泳日誌

褌で滿艦飾　壯觀極りなし

京中生徒　執行生

七月二十六日土曜晴天　蚤の攻擊にたへかねて毛布を蹴て起くれば鶉鳴かまびすしく東天小白み來れり、然れども何處よりか來る干魚の惡臭ぷんぷんとして夜あけの氣分も何處もなくにげうせたり、手をつかひ、朝食を終へ海岸に出づれば鯖の子を數多釣れる者あり、我も亦明日釣りて見んと思へり、午前九時半より十一時まで松亭里に於て水泳せり、天氣晴朗なれども波高し、この大波を越ゆるは一入面白かりき、晝食後二時より水泳す、旅館に歸れば部屋がへにて上から下への大さわぎな、此の度は表の二階の室にて前の女中部屋とは實に雲泥の差なり、緣側の手すりには水褌手拭等滿艦飾の如く壯觀極りなし、夜に入り將棋、雙六等にふける中時計は早くも十時を報ぜり、床に就けば前夜と異なり蚤は居らず涼しくして何時の間にか夢路を辿れり。

本稽古に入る

白波白鷗白帆

七月廿七日　同　佐伯生

午前九時松亭里海水浴場に到れば昨夜の猛雨の名殘を留めて浪高く海風烈しく天曇れり、波は無辜の鍛錬を卷返し盛に碎けては綺麗の景を如す海の珍らしき我等には頗る痛快なり據準の配列終れば暫時體操、後海に入る、海中稍溫かし、浪を乘り越えて快な叫び又浪に戲れて止め然りたり、十分餘にして上陸やがて第二回目の遊泳あり、午後は三時より開始。

七月廿八日　太陽出でたれども浪尙高し、此の浪を冒して無級の試驗行はる、又三級以上の船よりの飛び込み等あり、流石にあざやかなり、時を經るに隨ひて波益々險惡となる、四時より歸途に就く

殿段がにして昨日よりは泳ぎやすし、此日午前中はやや冷かなり行ふ、四級五級は遊泳の練習として助手が先頭に進む、午前は二回午後は三回も午後は所謂水泳日和にして遊泳者各其全力を盡す、碧海碧空白波白鷗又遠く白帆の島影に映じたる佳趣として一幅の畫の如し遊泳中折りしも一汽船の入港するあり、白波を蹴て進む樣川雄にして我等をして快哉を叫ばしむ。

運動界

大連の庭球戰

高商對全大連の第二回戰にして最終の庭球試合は北公園コートに於て池邊塚原氏審判の下に三十日午前十時三十分に開始高商軍捷てり（大連）

高商　小野、近　三ー一　大連　技東、小林
高橋、竹澤　二ー三　寺師、國分
◎高橋、竹澤　三ー一　狹門、森
北川、淺野　三ー二　安富、勸修寺
◎北川、淺野　三ー一　笠原、由比
岩崎、佐藤　三ー二　中島、中井
岩崎、佐藤　〇ー三◎　石川、伊瀨
大山、松本　〇ー三　石川、伊瀨
久保、長谷川　一ー三◎　石川、伊瀨
高橋、竹澤　一ー三　石川、伊瀨
北川、淺野　三ー一　石川、伊瀨

全國中學野球大會

大阪朝日新聞社主催第五回全國中等學校野球大會は廿五日より擧行さるゝ筈であるが京阪鳴尾に於ける大會は本月中旬を以て大勝戰は早稻田實業對慶應普通部の決勝であつたが結局慶應普通部四對六で大捷し首尾好く京津の覇權を握りたれば來るべき大會には一府大會を奏して美事月桂冠を得ん意氣込みなりと

慶應選手講話

二日午後四時より慶應野球部選手一同は本社に立寄り樓上の會議室にて本社野球部に對し野球に關する講話を試みたるが社外有志も多數來聽したり

本町溫度（午後二時）

▽京城　華氏九十二度（本社測候局）
▽仁川　同（本社支局）

淨瑠璃

文樂座人形淨瑠璃は夏休みを利用して東京へ乘込み古靱、雛太夫、文五郎一行が有樂座に、伊達、駒、彌太夫、玉三一行が新富座で開演して居るが好い入氣らしい▲有樂座では太十に赤垣源藏、鈴ヶ森といふ聽つぽい所が呼物であつたが新富座では廿四孝、紙治、鈴ヶ森といふ惜しい事には女形で日本一の文五郎が有樂座に居るので新富座の方が寂しい▲文樂座が二派に分れて開演、好評を博して居るのは一つてもよい、夏の東京は人形淨瑠璃の全盛と云つてもよい▲京城へ人形使ひを呼んで來て人に語らせるといふ暇▲鶴太夫はお誠れになつたらしい▲中の休みには京城の稽古場を見るの日に來る各師匠の稽古振りを見るを樂しみにしてゐる▲フトの梅若はた、義太夫仲間では天狗振りも一番猛烈だといふ事

夏の頭腦の使ひ方と腦神經

■病氣の治る治らぬは此用意から
■腦力を增すと減るとは此注意
■酒好の人、煙草好の人に夏の用心

■季節の及ぼす腦神經病　季節で言ふと春と秋は、餘計に頭腦を使つても割合に故障が起らないが嚴寒と盛夏の候には少し無理をしても直ぐ病を起し易い。是は劇しい氣候と戰つて生存する爲に知らず識らず多大の力が要るからで、斯ういつた力の使用は直ぐ腦や神經に疲勞を及ぼすからである。

■夏に起易い頭痛と眩暈　其れが何ういふ形で臉に現れるかといふと、無論種々あるが、夏に起易い頭痛と眩暈は其一つである外へ出て暑さした日光に會つて、頭と眼がくらくらする氣持、考へ事でも續けると重い頭が旋て段々痛んで來て時には腦貧血や腦充血を起して卒倒する樣な場合もある。

■夏の便秘と逆上と不眠　夏は亦概して食物が不味くなつて食慾が減ずるのである。働きが鈍いから腸胃は直ぐ害される。其が下痢又は便秘となる。便秘には逆上、眩暈が伴うて腦神經へ惡い影響を及ぼす。不眠が兎角斯うした場合に來易い。不眠程腦神經に及ぼす害の甚しいものはない。實に腦神經の大敵である

■夏と腦神經の衞生　右の樣に夏時は腦が冒され易い時であるから、腦の衞生に注意す可き條々を言ふと、春や秋より腦を疲勞させぬ事、卽ち仕事に疲れぬ中に少し宛休息する事が肝要である。最近瑞西の某中學で四十分教授して二十分休ませる事にしてから生徒の成績と健康が非常に良好になつたといふ實例がある。又頭痛や逆上の因たる便秘は直ぐ治さねばならぬ事

■若し冒された場合には　斯う萬事に注意しても、眠く、懶く倦易く、考へが鈍り、元氣が無い……と云ふ風にもしや腦神經に犯された場合には、打捨て置けば漸次重くなる。速に「島村醫學博士證明」の腦病特効藥として名高い「健腦丸」の服用をお勸めする。同劑の効果は一度服用した患者の實驗せらるゝ處である。

■飲酒家喫煙家の注意　「健腦丸」は關西に於て最も設備の完全なる丹平商會製藥部で專門の技師藥學者達が最新藥學上の研究を盡して調製した者で、腦神經病の徵候たる頭痛、眩暈、逆上、便秘は勿論不眠症、神經痛を快治し殊に卒中、中風抔の發り易い飲酒家の持藥として、逆上や腦の昏迷を誘ひ易い喫煙家の常用藥として各種の疾患を未發に豫防し頭腦を明快に──記憶力を增進する特効があるから、飲酒家、喫煙家は殊に夏季に於て「健腦丸」を離さず常用せらるゝがよろしい。

■頭腦を使ふ人の注意　それから今一つ大切な事は常から頭腦を劇しく使ふ人々は腦神經の疲れ易い夏季には、是非持藥として「健腦丸」を服用せらるゝ事である本劑の成分中には血液の循環をよくすると同時に腦神經に必要なる營養分を補給する機能が含まれてゐるから、常用者は腦の疲勞を恢復すると同時に益々身心を健全にする効力がある。藥價は四回分廿錢から十圓分五圓迄、種々。全國內外の各藥店で販賣してゐる。本劑は大阪順慶町通三丁目又は東京日本橋區箔屋町丹平商會へ註文せらるゝがよい、スグ一週分をお試しあれ

小田中佐（大田）先頃陸……

四州面中國出張所……は白米小賣一升五十錢となり公定值段は一等白米四十九錢、二等四十八錢五厘、三等四十八錢……八錢となりたり

運路船上陸客

山王丸、吳印塘、小川雄次郎、島田藤治郎、大竹すみよ……

一等（四名）鷹谷雄、宇川まつ江、外八名　二等（二十名）……

大阪期米特電　一日後場……

神戸期米特電　一日後場……

天氣　曇但少雨　▽京城氣溫……

日出五時三十九分　日沒七時四十分

第　版

鴨江材界の權威(四)

採木公司の使命と其の事業現況

造材方法 は自然支那式と日本式の二種に分たれてあるが、支那式造材とは以前より支那人木把により代り出ださるるものが即ちそれで、今日尙鴨綠江材の過半數を占めて居る、其の材種は角材が最も多く、丸太材は殆んど其の一部に過ぎぬ支那式造材の概要を一寸述べて見ると長さは八尺を單位として連と稱へるから十二尺物は一連半、一丈六尺物は二連と呼ぶこととなつて居る、之は日本で一間丸太とか二間物とか稱すると同樣であつて、其の材積とは何等の關係はない、假令紅松材百連と云ふのは八尺物百本と云ふが如く八百尺の意である、其外符又は副と云ふ稱呼がある十一連は一符又は一副で、其他、寸、料等の單位があるけれども略する日本式は凡て名稱の如く日本式であるから之を省略する

鴨綠江材の價格は凡百の物資と等しく年と季節には銀相場の高低によりて左右せらるるものであるが一般に春季解氷期となつて鴨綠江に數百千の船舶が材木買取りの爲めに出入する時が最高價の時期とせられ、それより五月中旬頃新材料の筏期より漸次下落の趨勢を示して七、八九三箇月間は筏の最盛期であるが故に最低時期と見られて居る、以前、鐵道の敷設せられない時は凡て鴨綠江の水運に據つたもので、冬期結氷期間の取引は見なかつたけれども安東、奉天線の敷設以來は鐵道によつて滿洲朝鮮方面に盛んに搬出せらるる樣になつたのである、近年鴨綠江材の販路は急速の發展であつて、南滿洲や朝鮮方面に於いては殆んど鴨綠江材の獨占たる偉觀を示しておる

採木公司創立以前に於ては安東の下流、約九里の大東溝と云ふ港が鴨綠江材の大問屋場、大集散場であつて支那料棧の多くは皆同地に店舖を張つて居たけれども、公司創立後は其貯木場が安東縣六道溝に設置せられたので、大小の料棧も亦移ひ安東に移住する事となつたのである、而し上流より來る筏は六道溝の貯木所に入る迄もなく安東の稍上流沙河鎭に於て取引せらる、斯の如くにして我が安東縣は東洋に於ける有數の一大木材市場と化して來たのである、安東には數百戸の料棧又は木商と稱する支那商人があり五十餘戸の大小日本商人があつて盛んに木材の取引及製材に從事しつゝある終りに臨んで去る大正三年より昨大正七年に至る五箇年間の着筏數價格の概算を擧げて見れば左の如きものがある

年次	着筏數	價格
三年	六、一六六	三、一二三、一四六
四年	三、四四三	一、九九四、一一七
五年	四、七三九	三、三七八、七五九
六年	四、九九九	三、五九八、四五三
七年	七、一五五	六、〇四八、三四七
平均	五、三三二	三、六二〇、四六六

(枚)(円)

附記 安東縣に於ける日本人の木材組合員中主なるものは左の如きものである

▲三井物產株式會社安東縣出張所▲鴨綠江製材無限公司▲合名會社石崎商店▲東亞木材株式會社▲加來材木店▲安東挽材株式會社▲大二商會安東縣出張所▲浦元材木店▲宮下木材株式會社安東出張所▲安東木材合名會社▲荒川洋行▲川崎材木店▲大六製材所▲山口組▲山形材木店▲金指貫吉▲荒川商會▲大正木材株式會社▲布袋商會▲三合公司安東縣出張所▲五通材木店▲村木洋行木材部▲戊申洋行安東縣出張所▲東洋燐寸株式會社安東縣出張所▲村永久吉▲永田善太郎▲奥村組▲探公棧▲濟洋行▲奥村組出張所▲木材商會出張所▲村上四郎▲合名會社南滿製材公司▲鈴木惣吉▲合名會社鈴木商店安東縣出張所▲竹下直讓▲山田新助

營林廠の使命　大森林二百萬町(約)

樹種と蓄積 鴨綠江流域に於ける蓄積を擧げて見ると紅松が約二億四千萬尺締、杉松が四億三千尺締、落葉松が二億二千萬尺締、闊葉樹が一億二千五百萬尺締、總數十億一千萬尺締を示し、豆滿江流域に於て紅松は少く百五十萬尺締、杉松は一億六百萬尺締、落葉松一億九千三百萬尺締、闊葉樹四千七百萬尺締合計約三億五千尺締に達する、而して針葉樹は概して面積に比して材積歩合が多い爲めに針葉樹と闊葉樹との比例は占領面積の歩合よりも差が多く、針葉樹は八割七歩で闊葉樹は纔に一割三歩に過ぎない

製紙原料材 此の內にて最も注目に値するものは製紙原料として重要視せらるゝは杉松であるが鴨綠江流域に於ける蓄積のみにても無量四億萬尺締以上に達するから假りに百二十年毎に輪伐するとしても一年の伐採材積は三百五十萬尺締以上に達する鴨綠江と豆滿江兩流域の針葉樹の蓄積は約十二億萬尺締であるから百二十年を限度として輪伐するとしても永久に毎年一千萬尺締の材木を採伐することなる理屈である特に又注目に値するは鴨綠江畔に於ける紙業の發展であらう

森林更新計畫 營林廠の所管する森林は上述の如き百二十年を以て輪伐するも猶綽々たる餘裕あるが如きも只自然に放任する時は或は永遠に保續し得るや否やの懸念と更に進んで有要材木の更新又は國土の保安、危害の防止、水源涵養等種々の目的の爲めに施業案編成の必要を認めて大正元年度より其調査中であるが來る大正十一年には全部終了する見込であると云ふ而して大正五年迄に鴨綠江流域の調査は約三十二萬五千町歩豆滿江流域に於て約二十一萬三千町歩の調査を遂行してある

造林の計畫 如上の理由、即ち蓄積如何に無盡藏なりとは云ひ乍ら單に伐採するのみで造林に注意しない時は荒廢に歸する時期の來る事あるを以て營林廠は第二次の林相に注意して主として天然造林法に據りて造林を試み、猶ほ且つ天然にのみ放任し置き難く又植林の見込十分なる地點には植林によりて更新の實を擧ぐべく試驗苗圃、試驗造林に從事すると同時に有望なる樹種の選擇に就ても深甚の注意を以て研究されつゝある殊に本年度に於ては京義線白馬方面に於て數年計畫の造林を實施したと記憶する

伐木と造材 本廠の伐木事業は直營と立木賣り拂ひとの二種があつて造材は數年前迄は主として角材となし又其の長さも支那式の運即ち八尺を單位として來たけれども、近年に至つて運材法を編筏法に熟練した爲めに直營材は大木材の外は丸材の儘に流下する事となつて居る材木作業は例年九月より十一月の間に行はるゝが通常であるが天候其他の關係によりて多少の時期に相違のある事は勿論である立木賣拂は讀んで字の如くであるから茲に省く事とする

十年間の造材 去る明治四十五年度より大正五年に至る十箇年に於ける鴨綠江流域の平均造材は十四萬六千尺締拂下げ其他七萬三千尺締、豆滿江流域にて直營二萬七千五百尺締其他三千尺締に過ないけれども當時營林廠に於ては時勢の推移に鑑み非常に緊縮主義を採つた時代の事であるから、今之を以て標準とする事は無理である、殊に此の一兩年間に於ける造材の數は一躍して非常の激增を示してをる事は事實である

貯木所の備 鴨綠江流域にありては上流より跡著する筏は中の島の一角化下洞及び新義州製材所構內に貯木所を設けて之に原木を貯藏し、豆滿江流域に於ては下流十里に繫筏したるものを輕鐵により西水羅に運搬して來たが大正六年度より滿鐵道の開通を見たので會寧に貯木所を置く事となつて居る

太陽の光(一)

無代價の燈火

穩かな夜が明ると擂端に鳴く雀の聲と共に東の窓から太陽が現はれて眩い花やかな日光を我々の世界に投げる朝の太陽を仰ぐ時ほど心地のよいものはない昨日の凡ての苦しさは何處にか去つて、充實した希望と元氣とが五體の中に湧く、さても此の太陽は日中吾々の世界を明るくして萬物の活動を全ふせしめ、凡てのものが疲れた頃に西の山に沈んで安らかな夜の休みを與へる人間初め地上の萬物は此晝と夜との交替によつて、どれ丈けの活動力と慰安とを受けるであらうか、試みに日光がなかつたらどうであらう、到底吾々は生存して居ることは出來ぬ。併し日光が同じ樣時を違へず吾々を照して呉れるから當り前の樣に思ふて居る。けれども此無代價の日光ほど高價なものはない。何萬圓の財產や何千圓のダイヤモンドと雖も比べものにならぬのである。

燭光と其溫度

太陽の溫度は六千度である今日人的に得られる電氣爐の最高溫度でも四千度足らずである此で太陽の溫度の高いことが思はれる。それでは其燭光は何れ位かと云ふと百燭光の電燈を兆の千億倍した數だけよせねばならぬのである。

早く走る日光

太陽から來る日光の速さは一秒時間に七萬六千四百哩である。而して地球から太陽までの距離は九千二百七十萬哩であるから太陽から地球に達する迄に八分十四秒かゝることになる。

性體は何者か

日光に限らず一體光りは何物かと云ふことを調べて見よう。光りを出すものは非常に高い溫度のもので、固體でも液體でも高溫である、さふ云ふ溫度の高いものは其の分子が非常な速さで振動して居る、此振動が宇宙到る所に瀰がつてゐる。眼に見へないエーテル波を起し、此波が非常な速さで空間を進むのである。それだから日光は太陽から波及するエーテルの波と云ふことになる。吾々の普通の考とは大變違つたものであるのに驚くのである。

日光の隱た力

座布團や衣服洋服の樣なものは永い間日光に逢ふて色があせてくる、こんな風に日光には物を晒す働きがある。又日光消毒と云ふて疊や夜具類を日光に晒すことがあるが、あれは日光がバクテリアを殺すのである。又日光に無月曬されて居ると皮膚が黑くなる、之も亦日光の働きである。

見ゆる部分と見へぬ部分

日光と云へば見へるもので見へない日光があるかと不思議がる人もあらうけれど、學問上調べて見れば矢張あつたのである。赤橙黃綠青藍菫の七色は七種類あつて、あの虹の色で見へる日光である。然るに此外に見へぬ光がある。熱線と紫外線とである。吾々が日向ぼつこをして暖かく感ずるのは主に此の熱線の働きである。又バクテリアを殺したり、物の色を晒したりするのは主に紫外線の働きであることが研究の結果明かになつた。

社會運動の惡傾向

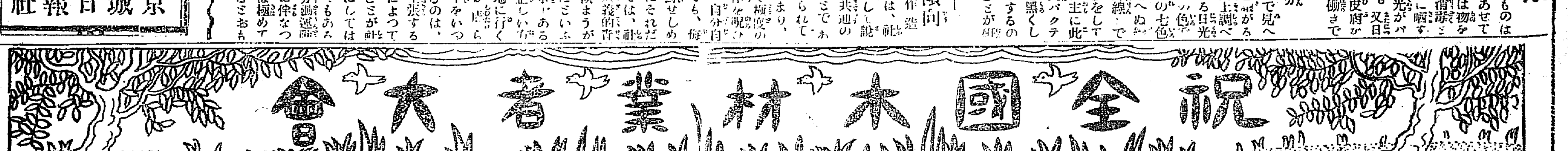
法學博士　吉野作造

僕の遺憾に堪へないのは、社會問題や勞働問題を率先して說き廻る人々の間に、一種共通の漂たる風潮の存ずることである、詳しくいへば、虐げられて居る階級に同情するのあまり、虐げて居る階級に對して極度の不平を洩らし、甚しきは法律を呪ひ社會的道德を蔑ろにし、自分自身の何等の權威に對しても、侮蔑、不信の態度を以て對せしめんとすることである實にそれだけならい、さらに進んでは、社會國家に對する自家の道義的責任をも省ることなく、飲ようが遊ばうが、自分の勝手だといふわがまゝの振舞をする事がある。かくては折角の運動も正しい方向に向つて當然の目的地に行くことは出來ない、吾々が虐げられてをる階級として不平をいつたり運動を起したりするのは、單に自分の權利利益を主張するばかりではない、これによつて自分の地位を向上することが社會國家のためであり、又大にしては人類一般の進步のためでもある、かういふ道德的方面が勞働運動に至るあらゆる社會運動に伴なつて行かないといふことは極めて警戒すべき惡傾向であると思ふ(我等)

避暑地投票用紙

道名	地名

京城日報社



新義州本町六番地　前米 材木商　大谷松次郎　電話七　振替京城一九九五番

新義州常盤町九丁目　春田旅館　電話一四〇番

永田寬龍　新義州府當町　電話一七〇番

新義州濱町　木材商　北方商店　電話一貳一番

溫突油紙 大井紙敷紙 前子各種 販賣　土木建築請負業　田中政市　電話一二六番

京城管理局指定 土木建築請負業　新義州旭町一番地　朝日奈清九郎　電話一五〇番　出張所 龍山漢江通二

安東縣二番通三丁目　屋根柾板製造業　奥村商店

安東縣江岸通二丁目　浦元製材所　電話一七〇番

安東縣二番通五丁目　材木商　金指

安東縣江岸通　海運業　共益商會　電話七六番

諸機械新製並修理其他應需　安東縣大和橋通り五丁目　大森鐵工所　大森雅記　(電話一參一番)

安東縣一番通二丁目　材木商　五通商店

安東縣市場通り六丁目　運送業　北華通關所　電話三〇三番

安東縣六番通一丁目　請負業 木材商　山口組　電話一〇一番

製材製函原木賣買　安東縣一番通り三丁目　鈴木商店 製材所　電略ス(又ハンス・キ)

海陸運送業　安東縣濱町通り　西村組　電話一七三番

安東縣一番通四丁目　安本製材所　松本幸藏

貿易商　安東縣大和橋通　興東公司　電話一五一番

安東縣五番通三丁目　東洋燐寸株式會社　安東縣出張所　電話四五六番

原製材木 販賣　安東縣大和橋通三ノ五　山田新助　山田製材所は安東縣六道溝浦濱通に建設中動力百馬力本年十月竣工の豫定なり

安東縣江岸通り二丁目　安藤洋行　倉庫部 電話三六〇番　倉庫部 中國電話一九〇番　紡績部 電話八九番

挽材製函並ニ原木　安東縣濱町四丁目　竹下製材工場

安東縣南地　貸席組合

鮮鹽乾魚介委托販賣　並氷貯藏販賣　安東縣魚市場江岸一丁目　合資會社 伊佐奈商會支店　電話一貳〇番

支那安東縣　安東挽材合資會社　代表社員 武藤守一

木材商　株式會社 大二商會　本社 京城岡崎町　出張所 安東縣一番通り　電話二六番

南滿洲安東縣　安東鐵工株式會社 電話四三八番　大正木材株式會社 電話四〇五番　安東煉瓦株式會社 電話四六二番　荒川洋行 電話四六二番

安東縣　魚菜市場組合

にて京城に向け出發する事とな……○貯水池で溺死(淸州)　淸州郡……細き煙を立て居りし者なりし由　○白米五十錢(仁川)　仁川にて白米小賣値段は八月二日より一升に付一錢の値上げをなし四十二錢……

日本名刀傳 百二十

東京 田邊南龍講演

五郎正宗 (五十)

國義國友の兩人逼はじこ逃出だし、宙を飛んで國重の旅宿に駈つて 義『先生、何者だか知りませんが、先生の奉納なされた刀を大地へ投付た奴があります、早くお出下さい 友『何でも助正の味方らしうございます 重『如何なる事情か知らねども我が刀を大地に投げたこは不埒千萬、惡くき惡漢』こ大劍提げ馳付て見ればザワ／＼こ騷いて居る見物人の北の中に一際勝れし大男、國重の刀が大地は措たはつて居るのを見て心持快げに笑つて居る、國友は指して 友『先生、アレ、彼の野郎でございます』見るこ隙て知合の村正だから、

重『珍らしや村正、京都油小路の國重なるぞ、如何なる意恨あるかは知らねど、何で我が刀に恥辱を與ねた、此亂暴者め、今は兄弟子こて用捨はせぬ、その事情を言へ』村正は匹々申上げます通り氣早な男ですから 村『何を小癪な、苟くも相州流の流れを汲む五郎正宗先生の門に遊んだ者にもあるまじき卑怯未練な所業、亂暴こは手前の事だ、相手が欲しくばなつて遣るわ』こスラリ引抜いた大刀、物凄い光り 重『何を猪口才な』こ是亦大劍引抜いた、見物は『ソレ喧嘩だ／＼、危ねゑ／＼、怪我するこ往かねゑ、退いた／＼』バラ／＼こ逃散ります、國重は割合に落付いた人だから、村正の此地に來て居たのが既に不思議、また自分の刀へ恥辱を與へたのは全體ごう云ふわけかこ聞かうこ思つたのだが、村正が無暗に逸つて刀を抜いたので國重も抜いたのです、奉納の刀の順番を狂つて居たのを國重は實は知らないのです、村正は満面怒氣を含んで 村『京の油小路の國重こ言はる、者か、能くも人の出世の妨げして嫉み心を起し、如何な奴は用捨は出來ぬ』こ斬込んで來る 重『ナニ、此儘に賣りて正の刀が二番に下げたな、如何同じ門に學んだこは云へ其樣わ喧嘩なら買つてやらう』こピタリ青眼に構わた、際み睨つて村正が飛込むのを心得たりこ、チャリン、チャリン、チャン、チャン、火花を散らして斬結ぶ分かれては合ひ、合ふては別れ、チャン、チャン、チャリン、アレ／＼アレこ見物は手に汗を握つて遠くから取巻いてゐる、助正親子は我々の身から出たこごで客人に迷惑を掛けてはならぬこ恩人に怪我があつてはならぬこ心を焦つこ雖も、氣荒な村正、劍術に勝れた國重兩人の斬結んで居るこごだからごうするこごも出來ない、唯アレ／＼こ騷ぐのみ、實に二人の斬合ひは二龍深潤に珠を爭ひ、兩虎泄角に相搏つが如く、いつ果つべしこも見ゑざりしが、焦つて打込む一刀をチャリン、國重は鍔際で受止めた、鍔際こ鍔際こピタリ合つた者が斬られるこは是れ劍道極意の言葉、左れば双方呼吸を計つて、エイ、ヤツ、エイツこ互に隙を覗ては押合つて居ります、近頃になき喧嘩斬合ひ、何方に怪我があつてもならん、早く仲裁する者はなきか、早く止める者は無いかこ見物は皆心中に思つて居る、況して助正親子は底着になつてアル／＼顫ね、ワク／＼して、生きた心地もなく如何して宜いかこ思ふが、ごうも止める術がない、

仁川海水浴 設備に苦情あり

仁川海水浴場の設備に就いては頃來益々苦情の聲を聞くのが多くなつた、設備の不完全は一般に認むる處で出來得べくんば更に完全に浴客をして一人もその苦情なからしめんこ欲するのであるが浴場開設に就ての苦心こ犠牲こを了解したら敢て關係者の批評許りを云ふべきではあるまい、却つて秩序なき利己的行爲の多くを有する浴客にも其の大半の責めがある事を知るだらうこ某氏は語つて居る

成る程 尤もなる理由で元來仁川の海水浴は些少の篤志的寄附を得て辛うじて例年の行き掛り上開設して居るものであるから元より完全の設備が出來よう筈がない、地理的に既に多くの缺陷を有する仁川の海は此の設備を施すに頗る多額の費用を要する其の施設は官設でなく地方費支辨でなく又大會社の經營でなく僅に個人の醵出に係る限りある金額を以て一部の人の爲めにただ無きに勝る程度に

開設を 餘儀なくされて居る狀態であるから勿論千餘の浴客が一時に殺到してそれを不都合なき樣に收容しようなんかは到底覺束ない事である、若之が遺憾なき施設を要求し千人一樣に滿足しようこならば茲に充分なる設備費用の醵金こ管理の方法を改むるの必要を生ずるから不平ある者は先づ此の浴場施設指導の意味に於て自ら率先し多額の金員を寄附し以て理想的完全のものたらしむるが宜い、甚だしき者は此浴場設備に

補助を 受け設備材料を無料にて提供せられ乍ら尚ほ彼是有樣は何かこ頗でもない方角違ひな解釋を加へて苦言する者があるがそれ等は根本的に浴場の多いのは通舟の不平で之は餘を過つてゐる者である一番緊要な事は一般に充分に認め今少し改善の必要を絶叫したいのであるが然し…

怠慢で 舟を出さぬなごは有るべきでない通舟の乘降に就ては浴客の大なる責任がある今少し讓讓の德を積むで少くも危險を冒して我れ先にこ未だ乘舟客の上陸せぬに先だつて舟夫の制止も聞かばこそ雪崩の如くに乘込むなぞは浴客互の責任で之を以て定員以外に乘舟せしたなぞこ勝手の熱を吹くに至つては言語道斷である

脫衣場 の不足不備を鳴らす者もあるが經費の都合で如何こも爲し難いのみならず現在の脫衣場も單に脫衣する爲めに古屋を作つて居るに拘らず茲に營業のお直を開き或は午睡を貪りて他人の迷惑は更に顧みぬ手合が多く百人の脫衣が出來る所を三十人で占有するなご公德缺く利己的行爲は毎日見聞する事で斯の如くでは海岸悉くを建設しても廣くなければならぬご完備すればする程不平不滿は更に增大し千餘の浴客を不平なからしむる事は到底望み難いに相違あるまい(仁川)

安義巷談

惰氣傭々たる際は馬鹿に暑いものだが聊か馬力をかけて居れば百度の氣溫も堪い事はない▲材木業聯合大會を機にウント儲けようこする者は料理屋に遊廓である▲由來この種の媚賣は人に氣遅れを呑ませて狂はせるのであるから油斷はならぬ▲何處でもよくする事だ、紋日を氣構へて他國のお客を見るこ早速ほりたがる▲新義州こ安東こ比ぶるこ旅館は新義州が勝り、料理屋は安東の料理が好いこの評判▲安東の料理屋は競爭して家屋の新築をするが旅館は一向一振はない▲旅館に意氣地がないのか料理店がボルのか一寸研究ものだ▲筆を棒にするつもりで安東の貸座敷營業を議論しても牛の角に蚊の螫す程の反響もない▲ある有力者に貸下の貸座敷政策はご恐る恐る伺ひを立てるこムニヤ／＼▲ホら銀行屋さんに無暗に空景氣の土地に金を出しはしませんかこお尋ねするこ▲私の方では危險な土地には放資せぬ方針でありますこキッパリ▲土地の惡ブローカーは丁度ダニこ云ふ蟲のやうなもので喰付たら却々離れない▲何に曰く『炎大に惡ふ樹かげもなかれ兎』

平南屠獸數 客月中平安南道内に於ける屠獸數は牛九百十五頭、豚五千七百九頭、犬一千四百八十五頭にして之を昨年同期に比するに牛三百五十九頭を犬四百五十九頭を何れも增加し豚は四百五十三頭を減少し居れり

八月五日

庚申(舊)七月十日 火曜日▲つちのえさる▲二黑暗劍▲ひつじさる(西南▲佛滅▲やぶる▲芳 七 用丑

▼二黑▲念に念を入るべき日也 ▼三碧▲目上の引立を受くるか又は嬉しき便りある日萬事に吉 ▼四綠▲掛合ごこ抔せぬが宜し ▼五黃▲ちよつこ行詰まる事有 ▼六白▲運氣盛なる如きも實は然らず金錢の出入に注意すべし ▼七赤▲辛抱の仕甲斐ある日 ▼八白▲兎角滯り勝の日なり ▼九紫▲幸運隆昌の日にて思ひ立ちたらこは進んで行ふてよし ▲一白▲物ごこが運ばぬ日なり

クラブ商廊本店主催

富士の絶頂に有力化粧品業者二百五十名大招待の登山會 開催

五大都市聯合

既に平和は成立せり、日本の化粧品業者は今後東洋市場に一大飛躍を試むべき使命を有す、此の時機に際し業界の健全なる發達こ其の前途を祝福すべく

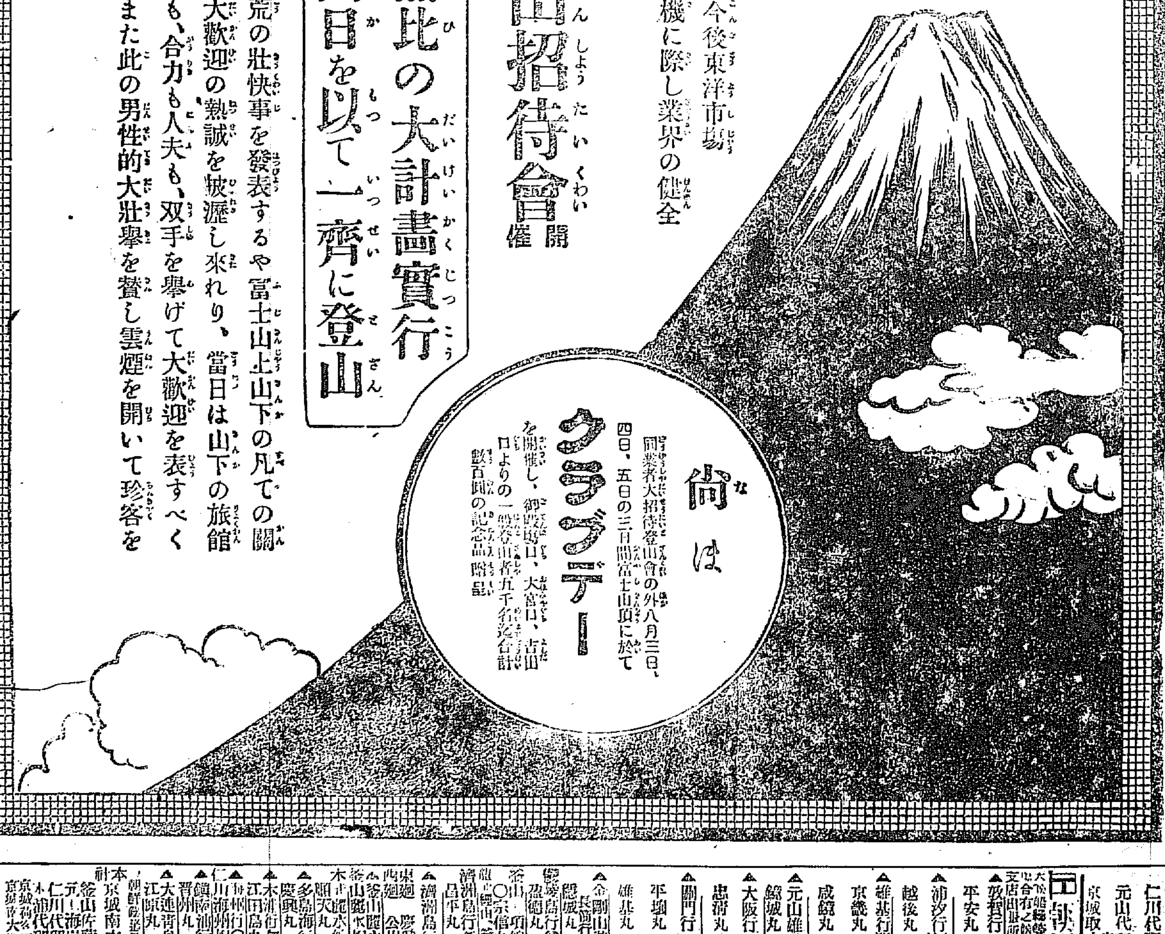
クラブ第一回富士登山招待會 開催

勇壯無比の大計畫實行 八月四日を以て一齊に登山

此の業界破天荒の壯快事を發表するや富士山上山下の凡ての關係者は擧つて大歡迎の熱誠を披瀝し來れり、當日は山下の旅館も山上の石室も、合力も人夫も、双手を擧げて大歡迎を表すべく富士の山靈もまた此の男性的大壯擧を賛し雲煙を開いて珍客を迎へん

登山歌

我が帝國の五大都市 二百有餘の同業者
峻嶮苦勞も何のその 英姿颯爽堂々こ
海拔一萬二千尺 世界に冠たる名山の
英姿の峰に立並ぶ 古今無双の大壯擧
吾等は共に業界の 爲す有る前途を祝福し
協同一致の赤心を 御國の爲に披瀝して
萬々歳を三唱し 宮嶽の國を中心に
商戰壕裡に濶歩せん 商戰壕裡に濶歩せん



演藝案内

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 電話八七三 大正館 八月一日より特別興行(料金普通) 長尺 實寫 猫の曲藝 米國ギーストン會社秀作 ▲滑稽『鐵の爪』の姉妹篇大冒險奇談 變幻魔術 長尺 最終篇 七眞珠 十三、十四、十五篇 全六巻 舊劇 信長こ光秀 全六巻

本町一丁目 電五九七番 有樂館收 喜樂館 死の輝 全六巻 女屑屋 全五巻

初日 二日目 滿員 勿見逃す最後の大冒險 最終篇 七眞珠 午後七時四十分上場 舊劇 松之助扇太郎大同合 信長こ光秀 大正館

本町二丁目 電一〇五〇 壽館

城明治町 電話二六〇 浪花館 八月二日より三日間限特別興行 勿來庵天風師 獨演

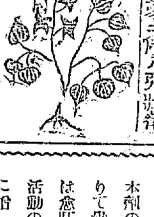
本町五丁目 電二八番 文樂座

京城府明治町一丁目 電話二四番 賓化病院 内科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り施療す 醫學博士 古城憲治 醫學博士 打田義芳

平壤京谷商店製 ▲ 煉火煉瓦販賣 京城古市町 苫米地商店 電話九四一、三一〇八番(1) 振替京城五三

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町 電話一五五六

浅羊電工キス 人參こ浸九弱壯劑 本劑の服用に依りて貴下の精力は愈旺盛こなり活動の能力は頓に增加すべし



内科 胃腸病 石川醫院 京城本町一丁目 電話一二三七 九二〇九番

痔疾專門 京城久枝肛門病院 京城明治町一丁目(本町より入る中央) 電話一一〇二番

宮内省御用達 ヒゲタ醬油 千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造

代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

和洋金物一式 株式會社 碌々商會朝鮮特約店 京城本町三丁目 佐藤牛次郎商店 電話一四三番電略(サト) 振替口座京城一貳一〇番

日本郵船出帆 仁川 大連天津牛莊行 濟州丸 八月 高砂丸 八月 相模丸 八月 部合ニヨリ早發スルコトアルベシ 仁川海岸通 郵船 仁川代理店

互光商會汽船出帆廣告 元山、西湖、城津、清津行 第三圓正丸 八月 門司、宇品、神戶、大阪行 第三浦盛丸 八月 釜山 大池回漕部 元田口回漕店

尼崎汽船出帆 仁川より阪神行 赤心丸 一神代丸 秀吉丸 君が代丸 大和丸 仁川海岸通 印船客御斷 高杉回漕部

共同汽船出帆 大連直行 第二共同丸 八月 青島直行 第十共同丸 八月 秦皇島行 第十三共同丸 八月 仁川代理店 本町四丁目 阿波共同汽船株式會社

朝鮮郵船出帆 京城取次店 雄基行 京畿丸 八月十三日 越後丸 八月五日 平安丸 八月三日 忠清丸 八月十二日 大阪行 咸鏡丸 八月四日 元山雄基線 鏡城丸 八月四日 雄基丸 八月 平壤丸 八月十三日 關門行 總城丸 八月 濟洲島行 昌平丸 八月八日 東廻 慶興丸 八月五日 西廻 公州丸 八月四日 釜山麗水線 多島海行 江原丸 八月 仁川海州行 晉州丸 八月三日 大連青島行 江原丸 八月九日 本社 京城南大門通 電話長三三三 其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

京城日報（日刊休無年）

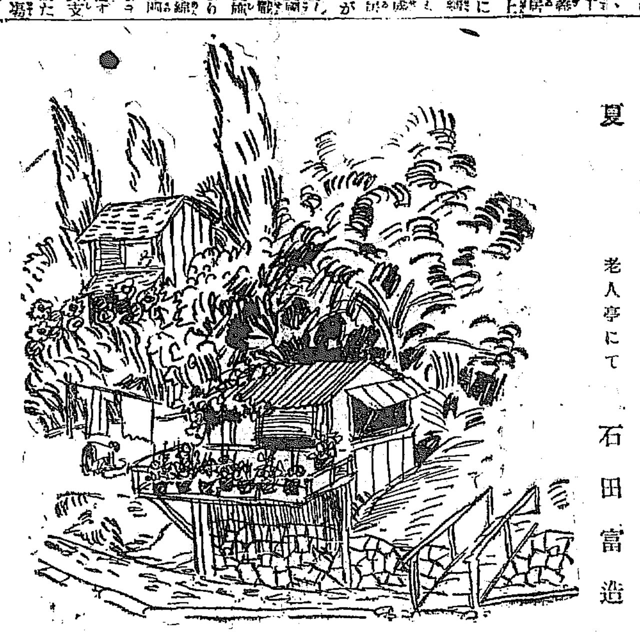
本紙定價 一部金五錢 一箇月金七十五錢 前金▲參箇月金貳圓貳拾錢 ▲六箇月金四圓三拾錢 ▲壹箇年金八圓五拾錢 郵券代用二割增
廣告料 五號十四字詰一行一圓 五號同特別二圓 ▲二號七字詰同二圓三拾錢 ▲四號九字詰同二圓 ▲一號五字詰同三圓 ▲十六號十六字詰金一圓

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九番 二九番 振替京城三〇〇番

本邦紡績業の對支活躍

今後に於ける世界的經濟戰の中心地

近時本邦紡績業者の戰後經營策として支那內地に工場を設定するもの漸く多く既に內外棉花は青島及び上海浦東の等滬源紡績、五萬二千錘織機五百臺を買收して操業しつゝあるが目下計畫中のものとしては大日本紡績が青島に二萬五千坪の工場敷地を租し現に工場建築中なると更に上海浦東に約二萬坪の敷地を買收せるを始めとして東華紡績は大千坪、合同紡績は三千坪何れも上海浦東の敷地買收交渉中にて又小田原、岸和田兩紡績にても上海附近に工場選定をなしつゝある外、豐田紡績にても織機工場を計畫し、從來資本鐘紡國主義を固持して對支發展を閑却し居たる武藤山治氏の鐘紡にても上海に絹紬紡績一千錘を試驗的に操業せんとしつゝある等我紡績業の對支活躍は寔に著しきものあり今後漸を追ふて一層殷盛を呈せんとする傾向を呈して居る而して斯の如く我紡績業者が一齊に支那に著目するに至りし原因は(一)我綿絲の最大需要國は支那なるも支那が與獨參戰の條件として輸入關稅改正を實施する事となり愈々八月一日より施行する筈なるが現在の如く綿絲布が異常の高値にありては關稅率の引上も差したる影響なきも經濟界が世界的常態に復歸する曉に於ては我綿絲布の對支輸出は非常に不利の地位に立たざる可らず、然るに支那に工場を設け其の生產品を支那國內の需要に應ずる時は關稅改正の影響を受けざるのみならず支那市場に於て優に英米製品を壓倒し對抗し得る事(二)今後に於ける世界的經濟戰の中心は支那であり各國殊に英米の主力を注ぐは支那市場である戰前より英人の多く就中紡績工場にて英人經營に關するもの多いが今後は英國は勿論米國も支那に投資して對支經濟的發展に資すべく然も紡績工場に力を注ぐべく思はれるが本邦は支那と同文同種であり其國情の近似せるのみならず白皙人種の支那に工場を組織するよりも直ちに各本國の工場經營に做はんとするを以て勞働者の操縱臣の如くならず且經營に就しも自國に於けるが如き熱心と努力とを缺ぐを以て本邦人經營工場にし著しく能率が減退して居るから本邦の紡績業者は優越的地步を獲得する事が出來る(三)從來、本邦より支那に輸出せらるゝは太番手にて精巧なる細絲は專ら內地の需要に充てられてゐた今後支那に於ける需要の增加すべきを以て支那向太絲手の需要は民度の向上と共に漸次細絲に轉化すべきも太番は支那に於ける邦人經營の工場にて生產して供給するを得策とする實際支那に於ける邦商が取扱へる綿製品の大部分は支那製品にて日本製品は僅に三割を出でぬ在留日本商人が日本品より他國品を多く取扱ふは一種の奇現象にして右の如き狀態なれば今後の需要は無限とも稱することが出來る(四)更に紡績業者の立場より探算するも內地よりも支那に工場を設置する方が地價諸材料勞銀等が低廉なる爲一錘當り內地なれば百九十圓乃至二百圓を要するも支那なれば約百三十圓見當にて建設し得ると(五)勞銀低廉の職工を使用する結果、生產費の低下となり關稅より免るゝ利益と相俟つて生產業者は多額の收益を擧げ得る殊に支那に於ける職工は內地と異なり悉く男工なるを以て女子職工の夜間操業禁止若くは時間制限より蒙る勞働者問題の打擊も尠少であるから支那に於て工場を設置すると內地工場の製品を輸出するとは其の結果に於て背壞も啻ならざる相違を生ずる(六)また本邦綿業者が支那に工場を組織してその製品を供給する場合にも相互の聯絡があるから決して尠からぬ利益を得られるのであるが我が一種の流行の如く支那に工場を設置せんとしつゝあるは全く右の事情に因るものなるが斯業の對支發展は啻に當業者の利益を增進するのみならず我が對支貿易上將た日支親善の有力なる素因たるべきを以て紡績の對支發展は推獎し助長すべきである（大阪）


夏　老人亭にて　石田富造筆

最近移民趨勢

近時國內一般に景氣良好なること特に地方農民の生活安易に傾けるの事實は專ら三人以上の家族移民を採り我移植民の殆ど全部を占むる伯剌西爾移民の募集に甚しく困難を感じつゝある如くにて海外興業會社がサムポーロ州政府と契約せる所は大正六年以降四年間に二萬人を送るべく又昨年及び本年度は更に年四千人の追加契約ありて茲二箇年は年九千人を移植する筈なるに募集の結果思はしからずして昨年は契約の九千人に滿たず辛くも約七千人を送りたるに止まりたるが本年は其理合勞々極力募集奬勵の事となりたりと（東京）

東京支局

◆二十九日は例によつて日清戰役を記念する牙山會が紅葉館で開かれた◆當年の旅團長大島義昌將軍を始め長岡、村木、大森の驍將十餘名の顏合せで昔話がはづんだ◆その中に長岡飛行將軍が感慨に堪へぬといふ顏附で一冊の記錄を持ち出し、何うも僅三十年しか經たぬ當時のことが世間に間違つて傳へられて居るので困るから當時の正確な記錄を作つて出版する積りで、これが其の原稿だとのこと◆それに就てはお互ひも寄る年波で何時死ぬかわからぬから一人でも澤山な證人の居る中に出して置かぬと諸君が死んで了つたあとで長岡がい、加減の法螺を書いたなどと言はれると心外だとの仰せ◆して見ると將軍は一番あとまで生き殘る積りらしいが何しろ千軍萬馬の勇將連とて元氣な話を連發し思ひ出話に興を湧かした◆牙山會も初めは五十餘名の會員があつたが今では二十名足らずになつたそれでも此の稀の會で長く續いてるのは此の會と熊本籠城會だらうとのことだ◆長岡將軍が此の記錄出版を思ひ立たれた動機の一つは朝鮮へ渡つた時、松崎大尉の記念碑に就て說明をした憲兵が當時の事情と全く異なつたことを喋々と述べてゐたので、これでは若い者に敎へてやらなければなるまいと發心されたのであるさうな

鍊膽錄

俳聖芭蕉（下）　三笑生

◇翁の語に曰く『それ天地は風雅なり、萬象も亦風雅なり。此の風佳は佛祖の肝膽なり、化に隨つて四時を友とす、見る所、花にあらずと云ふことなく、思ふ所、月にあらずと云ふことなし。心、月にあらざれば、獸に等しく、形、花にあらざれば夷狄に類す、夷狄を出で、禽獸を離れて、造化に歸れよ』と、一片の禪心、一輪の明月に對し萬朶の花に向ひ、天地萬象と共の身と、共に風雅の裡に、好生涯を送つた翁の襟懷が窺はれる。此の襟懷あつて初めて不立文字の好文字、超塵脫塵の好文學も湧き出るのである。◇序に翁の臨終の容子を窺つて見ることも徒勞であるまい。元祿七年九月半ばごろ、芭蕉浪華に歸る。二十九日夜より腹部に疼痛を感じ、泄瀉數行……醫を迎へんとせしに、翁は、大津の木節は、よく我が平生の身體を心得たれば、之れを招くべしと命じければ直ちに狀を具して、木節及び去來を招きける。十月八日住吉大明神に代參を立て、十八の連衆俳句を奉納して、翁の病氣の平癒を祈りぬ。此の日木節去來に向ひ、病頗る大切なれば、我が力固かず、願はくば仙醫の診察を請はんと云ひしかば、去來は、翁に此事を勸めたりしに、芭蕉曰く、木節の言、道理なれども、如何なる神力ありとも、虎口龍鱗を如何がせん、我する天業を如何がせん、我は木節が診治に安んじて、他に求むる心なしと。此の日、支考乙州、去來等相議して、鳴名の宗匠必ず辭世あれば、一句を賜はれかしと申せしに翁の曰く、昨日の發句は、今日の辭世、今日の發句は、明日の辭世、我れ生涯云ひ捨てし句は、一句として辭世ならぬはなし、若し我が辭世如何にと問ふ人あらば、此の年頃云ひ捨て置きし句、何れなりとも辭世なりと申し給はれかし。說法從來、常示寂滅相と、是は釋尊の辭世にして、一代の佛敎此の二句より外はなしと。斯くて十二月十二日、靜かに誦念經を念じて、眠るが如く逝きぬ云々◇翁の身心を處すること最後迄斯に悠々安靜たるものであつた。◇翁は實に單に俳人としての見るべきでなく、確かに偉人物として稱すべき人格を持つて居た。そして其れはかの自ら言へる如く、天地を風雅なりと觀し、此風雅は、佛祖の肝膽なりと諦得した根柢から、枝を張べ、花を發き、實を結んだのであることを忘れてはならぬ。

商業登記公告

本店京城府北米倉町百參拾七番地 設立、商號株式會社東洋染織 目的綿麻布綿絲類及和洋雜貨販賣各種商品ノ委託販賣 設立ノ年月日大正八年七月拾五日 資本ノ總額金貳拾五萬圓 壹株ノ金額金五拾圓 各株ニ付拂込ミタル株金額金拾貳圓五拾錢 公告ヲ爲ス方法所轄登記所ノ公告スル新聞紙ヲ以テス 取締役ノ氏名住所 京城府貫鐵洞參拾八番地金元健 京城府仁義洞拾四番地金東京 京城府[illegible]金漢[illegible] 監査役ノ氏名住所 京城府[illegible]金宗[illegible] 京城府[illegible]李昌[illegible] 存立ノ時期設立ノ日ヨリ滿參拾ケ年 右大正八年七月貳拾參日登記

大塚合名會社ハ大正八年七月參日京城府ニ在ル支店ヲ京城府明治町貳丁目四拾六番地ニ移轉シタリ 右大正八年七月貳拾四日登記

商號新設、商號[illegible] 本店京城府黃金町[illegible] 目的[illegible]物產ノ委託買賣[illegible] 設立ノ年月日大正八年[illegible] 資本ノ總額金[illegible]萬圓 壹株ノ金額金五拾圓 各株ニ付拂込ミタル株金額[illegible] 公告ヲ爲ス方法京城地方法院ノ登記事項ヲ公告スル新聞紙ヲ以テス 取締役ノ氏名住所[illegible] 右大正八年七月貳拾[illegible]日登記

龍山倉庫金融株式會社ハ大正八年七月拾六日目的ヲ倉庫、金融、運送、委託販賣、代理業ト變更シタリ 右大正八年七月拾五日登記

朝鮮土地經營株式會社監査役澤正次郎ハ大正八年十月[illegible]日辭任シタリ 右大正八年七月貳拾六日登記

京城製絲株式會社ハ大正八年七月拾五日目的ヲ絹絲製造及其販賣又ハ蠶繭ノ賣買及其他附帶事業ト變更シタリ

東洋拓殖株式會社ハ大正八年七月拾日支那山東省青島佐賀町貳番地ニ支店ヲ設置シタリ

商號取得、京城府本町壹丁目五拾番地仙波調一郎ハ大正七年參月拾日家督相續ニ因リ商號[illegible]ヲ取得シタリ 右大正八年七月貳拾八日登記

東亞煙草株式會社ハ大正八年七月拾七日支那奉天支店ヲ支那營口新市街ニ移轉シ壹株ノ金額五拾圓ヲ金五拾圓ニ各株ニ付拂込ミタル株金額ヲ金[illegible]ト變更シ神戶市東川崎町壹丁目壹番地[illegible]岡田虎輔京城府旭町壹丁目五番地馬詰次男取締役ニ當選就任シタリ

三井物產株式會社取締役南條金雄ハ大正八年七月貳拾五日其ノ住所ヲ東京市赤坂區勒阪町拾四番地ニ移轉シタリ

商號新設、商號[illegible]洋服店 營業ノ種類[illegible]及帽子製造販賣 營業所京城府本町貳丁目拾四番地 商號使用者ノ氏名住所[illegible] 右大正八年七月貳拾九日登記

株式會社三越呉服店取締役中村和一、[illegible]朝吹常吉、[illegible]山岡才次郎、小田久太郎及監査役笠原健一、鈴木衛四郎ハ任期滿了ノ處重任シタリ 右大正八年七月參拾壹日登記

株式會社朝鮮殖産銀行ハ大正八年八月壹日全羅北道群山府本町八拾八番地ニ支店ヲ設置シタリ 株式會社第一銀行監査役土岐債及尾高次郎ハ任期滿了ノ處大正八年七月貳拾六日重任シ東京市牛込區南町五番地竹田純平監査役ニ當選同日就任シタリ 右大正八年八月貳日登記

京城地方法院

原木賣買　安東縣濱商店　濱谷薰藏　電話（八）又ハ（八ヤこ）

鴨綠江命令航路　鴨綠江運輸株式會社　新義州濱町　電話三一番

丸一材木店出張所　出張所 新義州府本町三丁目 大岩勝太郎 電話一五八番　本店 京城府黃金町一丁目

新義州荷扱所構內　內國通運株式會社　新義州派出所　電話一七八番

安東縣三番通四丁目　木材商　三合公司　電話四三七番

新義州驛前　宮澤運送店　電話一八番 二〇三

安東縣三番通五丁目　大東製材所　電話四四五番

安東縣後補通り　安東木材合名會社　電話四五五番

椿井質店　電話一六二番

新義州江岸　製材、造船、建築　中村柳吉　電話一四四番

安東縣江岸通一丁目　材木商　豐和商會　電話三六五番

安東縣堀割南通八丁目　土木請負業　重松組出張所　電話三八番

新義州　料理屋組合一同

商業登記公告

大阪商船株式會社取締役[illegible]ハ大正八年七月貳拾四日任期滿了ノ處重任シ[illegible]田中隆三[illegible]就任シタリ[illegible]
右大正八年八月壹日登記

京城地方法院仁川支廳

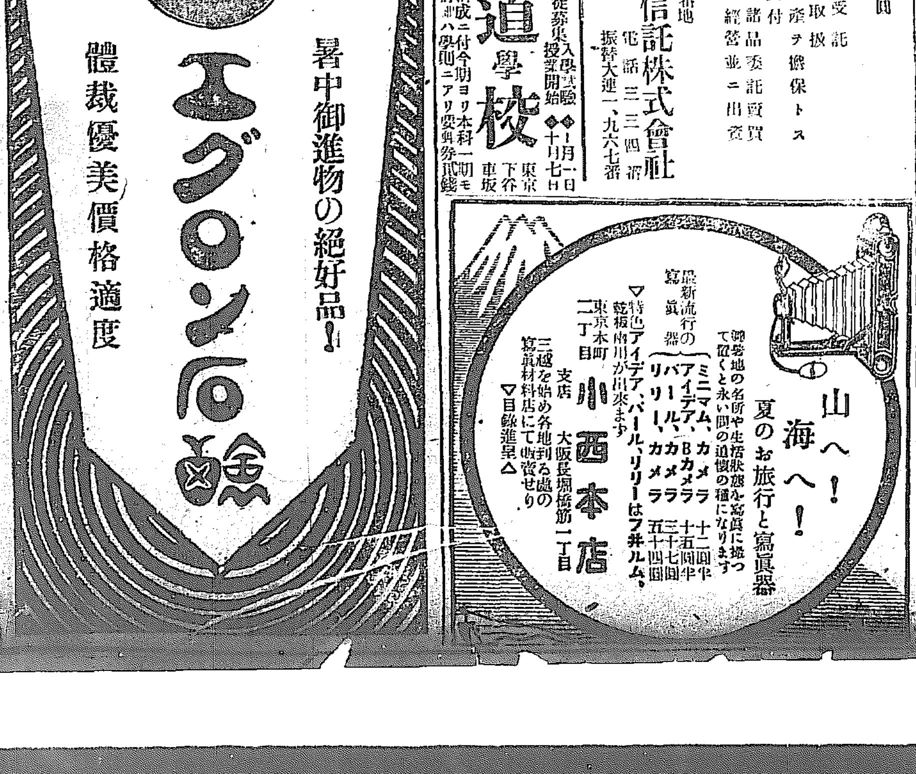
株　特報頒布　二回『二回』
諸物價空前の高値にありて朝野等しく調節策を呼號しつゝあり吾が株式市場も一般氣迷ひの形勢となれり前途は尚猛騰か崩落か吾社が精査したる處を今回實費を以て一千名限り特報して安全確實に利益を得せしむ熱心にして成功を望む士は直に申込れよ
◇特に情報を見ざる人は市場に萬金の損失を招ふ人なり
株式調查一ヶ月 通信十回 電通廿回
東京日本橋南茅場町四番地 株式取引所正門前 經濟信託社 通信專用 長浪花一四九四三 振替口座東京四七一八七七

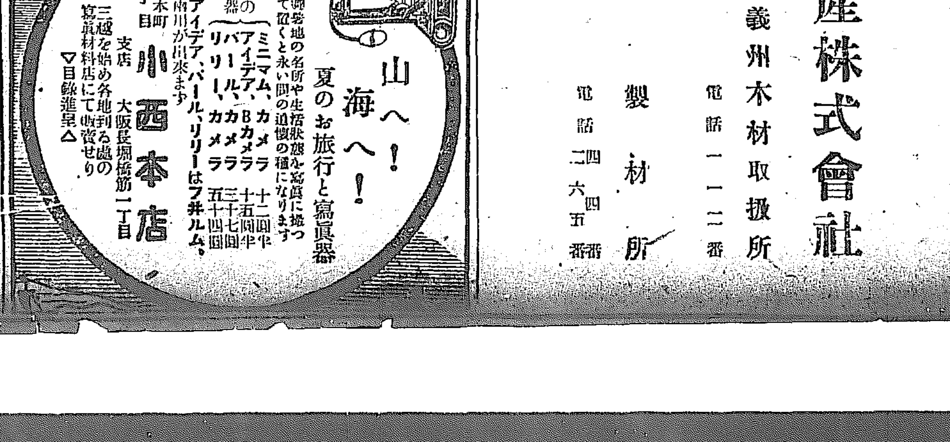
大口歡迎　質　黃金町長壁町入口 電話二九一六番　田村質店　商品擔保取扱便利

京城本町二丁目　川合時計店　電話一九一八　振替京城二二一九

資本金五十萬圓
營業主要科目
信託業務ノ受託
資金運用ノ取扱
特產物、木材、不動產ヲ擔保トスル貸付
輸出入貿易並ニ諸貨物委託買賣
有望事業ノ共同經營並ニ出資
一般信託業
安東縣四番通六丁目壹番地　安東商事信託株式會社　電話三三四番　振替大連一、九六七番

建設、機械、業務（豫科）本科一二期生徒募集入學試驗　工業化學、電氣工學　一、十月一日　二、十月七日　授業開始
社團法人　岩倉鐵道學校　東京下谷車坂
電氣工學科　實驗場建築落成ニ付今期ヨリ本科一期モ入學許可ス詳細ハ學則ニアリ要郵券貳錢





三井物產株式會社
新義州木材取扱所　電話一一二番
同　製材所　電話二四六四五番

改造

論伏征本資
現代　階級鬪爭の發達　思想家 米田庄太郎
▽勞資適宜の分配と企業利益　渡邊鐵藏
▽資本勞働の爭出資者　二割制限
▽どれだけ儲けるとよいか　利得稅
▽排姑息的政策　社會の暴利實證
勞働者の見た　マルタス……[illegible]
資本主義征服號
詩劇 片眼のお勝……淨田松
ボルセビキズムとウ井ルソニズム……內田魯庵
逍遙遊……和田垣博士
信念を基本とせる勞働運動の要求……河合榮次郎
對支共同借款……博士
社會問題と米價……小林丑三郎
文藝評論 社會改造と演劇……文學博士 坪內逍遙
長篇小說 美しい町……佐藤春夫
長篇小說 不能者……葛西善藏
詩 人と國……近松秋江

三國支那調印斡旋
＝山東還附聲明經緯＝

支那の講和條約調印拒絕善後策に就ては英米佛三國に於ても相當考慮中なりしが英佛兩國の批准は近く行はるべく米國に於ては同問題に關し目下上院に於て議論沸騰し共和黨議員は國際聯盟に反對するよりも寧ろ山東問題に就きウイルソン氏を攻擊する方人氣に投ずる上に於て得策なりとて形勢頗る險惡に陷りたりウイルソン氏に於ても何とか之が對應策を講ずる必要あり之れに關して在巴里米國委員に訓電する所ありたるべく英佛兩國に於ても調印未解決の儘批准する時は後日種々の不都合を生ずるの虞無しとせざるを以て米國と共同して支那の調印を斡旋することゝなり支那委員に於ても事大主義に捉へられ英米佛諸國の慫慂通り何とか其體面を繕ふことを得れば調印すべき方針なりと云ふ而して陸徵祥氏の打電に係る米國の調停案として傳へらるゝ所のものに就ては其筋にも情報あり多分事實に近かるべく消息通の者も之に依れば支那の追調印に對し日本は支那に膠州灣を還附すべき時機を聲明すべしとの消息も右調停案中に含まれ居る者の如し之に對し帝國政府部內に於ても其儘時日を遷延する時は日支兩國關係を益々險惡ならしむるのみならず米國との外交關係に就ても頗る憂慮すべき者あり既に幾度も繰返せる處なるも今一應改めて聲明書を發して帝國の眞意を闡明し以て事件を圓滿に解決すべき方針愈々閣議に於いて決定せるものゝ如く二十九日外交調査會を開き承認決定の上在巴里帝國委員に向つて訓電を發すべく然る上は支那委員も遂に諒解調印することゝ諒解成立し居れり(東京電報)

附記 外相の山東還附に關する聲明書は昨夕刊に掲載しあり

支那の誠意を疑ふ
寛城子事件＝外交部意見提出

支那外交部は國務院に對し今回の寛城子事件については廣西省蠻事件(英吉利副領事負傷事件)宣統二年の間島事件に準據して處辨すべく右事件の程度以上には讓る能はずとの意見書を提出せりと聞く果して然らばこれにより支那政府の寛城子事件に對する觀念を窺ひ知るべく毫も改過の誠意なきものと認めざるを得ず日本の態度によりては大なる爭議免れざるべし(北京電報)

戰爭終了案可決
支那米國上院に感謝狀

一日の衆議院に於て對獨戰爭狀態終了に關する宣言案を可決し同時に米國上院に感謝の電報を送るの件を決議したり(北京電報)

遣獨外交官銓衡
＝條約批准後派遣＝

對獨講和條約批准後我國より獨逸に派遣さるべき大使及び總領事其他の人選については目下帝國政府に於て銓衡中なるが獨逸とは從前通り大使を交換すべきや否や未だ決定せず或は公使を派遣するに止むべしとの議あり此點に就ては各國の協議も未だ決し居らず其決果により人選を決定すべく漢堡駐在總領事は相當重要なる地位なれば通商局第二課長大野守衛氏之に任命せらるゝ事に內定せりと(東京電報)

米太平洋艦隊 消息

今回新編成の米國太平洋艦隊中三十餘隻は去る廿七、八兩日巴奈馬運河を通過し三隊に分れサンチアゴ、フレマレトル、桑港に寄港せり(米所著＝東京特電)

オムスク獨裁官の依頼
＝聯合國の應諾＝

オムスク通信に依ればコルチヤク獨裁官はオムスクに在る佛國ジヤナン將軍駐日米國大使モーリス氏及び聯合各國代表者を介し聯合國の援助兎角遲々として捗らず斯くては到底露國復興の大任に當る能はず獨裁官の職をデニキン將軍に讓らざるを得ずと速かに十分の援助を與へんことを求めたるに各國代表者も大に之を諒とし各本國政府の名を以て應諾の旨明言し直ちに借款條件の作成に着手せり尚オムスク政府は此際閣員の交迭を行ふ筈なるが新候補者は孰れも歐洲各國間に名を知られたる名望家なりと(浦鹽電報)

七月下旬氣象

本旬より來りたる颱風の東海に滯留上記の如くなるを以て本旬に於ても雨量は地方に依り著しき[illegible]下にして平年の[illegible]內外の所あ[illegible]山の二八度雄基の三三度の間に在りたるが最高氣溫は三五度[illegible]基城津並びに中江鎭は觀測開始[illegible]各地の[illegible]

平壤 [illegible]
京城 [illegible]
仁川 [illegible]

我軍を襲ふ
過激派列車を顚覆し
松原一等軍醫戰死
プラゴエチエンスクに向ふ途中

或る筋に達したる電報に依れば西伯利出征第三師團一等軍醫松原保氏一行は七月二十五日午後アレキセーフスク發列車にてブラゴエチエンスクに向ふ途中二十六日午前零時頃アレキセーフスク南方約三里の地點に到るや列車は俄然脫線顚覆し同時に物蔭より凡そ百五十名の過激派現はれ襲擊し來りたるより我軍は直に是れに對抗し一時間半に亘りて激戰を交へ漸く敵を擊退せり此の戰鬪に於て我軍の蒙れる損害は戰死九名負傷五名にして前記松原一等軍醫は戰死したるが他は何れも步兵第三十三聯隊第一中隊の兵卒なり尚敵は退却に際し死體四を遺棄せり因に松原氏は大分縣宇佐郡長峯村赤尾松原信一氏の長男なり(名古屋電報)

出動編成命令
十二日出發

第五師團司令部及び步兵第廿一旅團、騎兵第五聯隊、工兵第五大隊、野砲兵第五聯隊に對し二日正午出動編成命令下りたるを以て十二日より逐次浦鹽に向け出發す可し(下關特電)

樺山伯重態

一時小康を得たる樺山伯の容態は二日夜半に至りて頗る危險狀態となり衰弱加はると共に心臟の力も微弱となりたれば家人は非常に憂慮し岳醫學士を招き應急手當を施したるも其効果著しからず二日夜深更近く兩醫師共詰め切り警戒せり尚二日午後九時に於ける伯の容態は體溫三十六度七脈搏八十四呼吸十九を示せり(東京特電)

我が造船界の不振原因
原料生產關係

傭船界は歐洲戰線出動兵の復員開始、食糧輸送、戰前戰後(本年六月末現在)の船腹四百五十餘萬噸不足の折柄大產物出廻り期に入りしと旁戰時中の英米急造船舶は粗製濫造多く今後の使用には大修理を要するを以て戰時中修理を施さず强て使用せるため此れ亦船渠に於て

大修繕を要 するを以て世界的に船舶大拂底にて內地傭船料は戰前運賃基準の下に決定せるもの一昨六年當時と同じく運賃を無視して昂騰し却つて運賃は傭船料に附隨するの逆現象を再現し居れりと雖も物價の大暴騰は各國其軌を一にし居れば之に對し各政府は如何なる政策を施すか不明なるがため前好況の裡にも不安の念あれば昂騰激刺たるものなく從つて造船界も英、佛、伊共に船舶拂底なれば造船註文乃至新造船の買船をなさんと焦慮しつゝあれど出征兵歸還後當然起るべき勞働問題解決の一策として自國內工業獎勵保護上海外への註文を見合し而して傭船或は運賃輸送に依りて現在の急を解決せんの振合なる爲め傭船高に拘らず造船界は思はしからず從て內地造船界も此今は第二次米國との船鐵交換船の建造及び海軍省の重艦、潛航艇驅逐艦等の建造に依りて辛ふじて操業をなしつゝあり本年一月以降の船舶

賣買談成立 せるは左の廿隻にして東京海運二隻日本海運一隻は明年一二三月渡しにて其他は中古船並に新造船の賣買談なり(噸當り金額單位圓)

船名	重量噸	受渡期	噸當金額	買主
十吉備丸	五〇〇〇	直渡	四〇〇	佛政府
大國丸	三七一九	直渡	三八〇	伯政府
淺野新造	一二〇〇〇	十月	三五〇	エムエル
三井新造	六四〇〇	二月	三〇〇	東京海運
同	同	三月	三〇〇	同上
橫濱新造	六八〇〇	一月	三〇〇	日本海運
鵠島丸	六五〇〇	七月	三〇〇	宇和島運輸
諏訪山丸	一一〇〇〇	六月	三一〇	郵船
東興丸	四五〇〇	七月	四〇〇	佛商人
豐川(木)	一〇五〇	七月	五〇〇	喜薩與一
東嶽丸	三六〇〇	九月	四三〇	佛政府
東陽丸	六三〇〇	七月	三四〇	同
大連丸	六一〇〇	七月	三五五	マドリカル
八雲丸	五〇〇〇	七月	三五〇	大阪商船
讚岐丸	四五九三	七月	三五〇	帝國汽船
和田丸	四五〇〇	八月	三二〇	伊太利
內田新造	三三〇〇	四月	三五五	大山汽船
神與(木)	六〇〇	八月	一六〇	支那商人
御影丸	一九七〇	七月	二七〇	政記公司
井手丸	二〇〇〇	九月	三三〇	フオガフス

議し日本郵船、大阪商船、東洋汽船、南洋郵船、辰馬汽船、岸本汽船等何れも

造船の計畫 を有し日本郵船は橫濱船渠との間に交涉中にて東洋汽船又淺野造船所との間に貨物船建造契約をなせり併し純客船にして快速力のもの日本郵船は上海航路配船一萬噸型二隻大阪商船は大連航路配船三四千噸型三隻北米航路及び歐洲航路配船一萬噸乃至二萬噸型四隻の造計畫あれど平時に於ける貨物船の約三倍の建造費を要すれば何れも船價の低落を期して註文を發せんと形勢を觀望しつゝあり其他船主に於ても大々多少の造船計畫を有すれど本年二三月の傭船料大崩落にて船價却付かざるもの多數あると其際の創損未だ治せざる者ある爲躊躇の振合なるに炭價の騰貴は鐵價の昂騰を促し一面又勞働問題よりして

賃銀の値上 げにて造船費向上せると年內に於て受渡し出來難きため見送りの態度を採り居れど海運界の前途多少見極め付かば更に進んで註文を發すべき意嚮なるに造船界として既に內地に於て造船用鐵板の生產も或る程度まで產出する事を得たるに造船費も英米に比し逐に勞銀に於て低率なれば早晚邦に向け必然海外より建造註文を渡し來るべしとの觀測を下しつゝあれば海運界の今後の形勢に依りて造船界も妥に復活するに至るべし(東京)

本邦瓦斯事業
上期成績不良

本邦瓦斯事業が事局以來石炭暴騰の爲め逐年利益減少し殊に最近一兩年來其傾向愈々甚だしく收支の均衡を得ざる結果會社を解散し若くば營業休止の擧に出でたるもの全國瓦斯會社總數の

約三分の一 內外に達したる實況なるが既に今日迄判明したる本年度上半期の各社營業成績を概觀するに初期以來炭價は依然戰時中に劣らざる高價を持續したる上勞銀の騰貴特に甚だしく從つて營業費の增加は夥しかりしに拘らず使用料率の引上一般に困難なりしを以て本期成績は之を前年度下半期に比すれば概ね不良にして即ち各社の今期利益金配當率を見るに名古屋、廣島及び神戶三會社の各一割を最高とし之れに次ぐは豐橋、泉州、京都及び京城の各八分延岡及下關の各六分近時問題の燒點となれる東京瓦斯の五分二厘等にして而も以上は目下悲境中の同事業會社としては比較的成績優良の部に屬し總數七十餘社中の約三分の一以上は尼ヶ崎仙臺及都留を始め何れも無配當に屬し就中後者の如きは三千四百八十圓の繰越缺損金を生ぜしが尙其他にも如斯例尠からず結局全國會社今期利益金配當率は約五分にして前期の平均に比し約一分方の低落に當れり而して近時斯界の趨勢を察するに一兩年度より頓に激增したる會社解散の傾向は休戰後諸材料騰落の爲め漸次一掃せられ今後一二の解散ありたるを最後とし同事業の勦搦は殆んど停止せられたるが如く各社共或は相當

料金の引上 を行ひ又は經費の節約を爲し以て永續策の樹立に努め居れるが何れも現時の五分配當には投資家として尠からず不滿を抱ち居る模樣なるも茲に過渡時代の珍現象と見るべきは瓦斯界の不況に際し一部人士が奇利を博したる事にて例へば松山瓦斯の如きは資本金三十萬圓を以て設立せられたるものなるが創立者は事業の不振に堪へ得ず遂に五萬圓にて他に賣却したるが之を買取りたる者は戰時の鐵價昂騰に際し設備の一部を賣却したるのみにて既に價を償却したる有樣なれば同社などは割合に低率の料金を以て需要に應ずべきが至當にして尙此の他にも是に類似の現象尠からざる由なり(東京)

全國材木商大會
第二日 於新義州公會堂 特派員

＝夕刊續き＝次に安東縣支部の提案にかゝる

●朝鮮及び滿洲に於ける內地輸移入に關し輸移入率輕減方を關係官廳に建議する件

に付提案者代表者伊藤勘二氏說明し秋田縣の非坂、長春の彼末其他一二の質問應答又は反對說等ありたる末委員の數及び指名は會長に委託し追つて之を報告する事に決定然して後委員の調査研究の結果を本部の名により實行することゝなし、次に名古屋支部鈴木總之助氏の提案にかゝる

●木材の檢知法並に材積計算法統一の件

を附議し提出者より詳細の理由說明あり安東縣の前田氏は之を滿洲材に應用するの不可を唱へし安東の伊藤氏趣旨には贊成なるも實行の不可能なる所以を說き、愈々兩說の議論盛んなりしも原案を採用するに決定且議長指名の委員の員數八名は之を後刻報告する事となり、其の委員會の決議に基き本部は之を採用して統一の實行を期する事として議事終了、議長は前三項決議の各委員推薦をなす爲め約三十分休憩をなす旨を宣せり時に午後三時、午後三時四十分再開、關東廳技師は北部滿洲森林事情に就き講演あり午後散會、同夜鴨江日報社の主催にかゝる煙火大會を參觀せり議長の指名したる三提案の委員として指名されたるもの左の如し

▲第一提案委員 平井太郎、大津峻、西脇清六、餘村松之助、內垣貫衛、彼末德雄、中野谷秀雄、永原正雄、清水榮次郎、石崎久三郎、橫江重助、多田榮吉、鈴木虎之助、大寳正鑑、井坂直幹

▲第二提案委員 伊藤勘三、荒川六平(以上安東縣)、(大連)新田榮吉(新義州)平井大次郎(大連)、村上忠三(京城)、鈴木虎之助(名古屋)

▲第三提案委員 鈴木虎之助、川崎善助、井坂直幹、多田榮吉、大津峻、大寳正鑑、清水榮次郎

▲基本金造成委員 武市森太郎、笠原小十郎、長島吾助、松本光太郎、大寳正鑑(以上東京)清水益次郎、篠崎造三郎(大阪)北原宗四郎、岩本武助(以上奈良)、薩摩孫平(兵庫)薩摩儀一(德島)長谷川舛七、鈴木虎之助、江口猪之助深谷德次郎、水江庄藏、加藤清吉、長岡安吉(以上名古屋)林近藏、阿部卓爾(以上和歌山)中津藤吉、竹岡峯吉、堀江清尹、井出卯之助(以上靜岡)井坂直幹(秋田)福原清吉(北海道)上野丈夫、餘村松之助(奉天)西野菊次郎(旅順)平井太次郎、川上賢三(大連)中山武雄(立山)多田榮吉、橫江重助、荒木要次郎、朝鮮興紙會社(新義州)三井物產支店、大ノ一商會、中谷秀雄

猶ほ他に松浦山林課長、今野總督府技師、澤永營林廠事務官、橋本採木公司參事の講演ある筈なりしも時間の都合により中止となれり

鮮滿片々

全羅北道の叺(全州)

全羅北道に於ける叺の生產は多年道當局で極力獎勵をなせし結果既に一年約二百萬枚を生產し得るに至つた生產地は主として平野部の沃溝益山金堤井邑扶安全州の各郡で目下の所買叺は全北の需要を充すのみならず全鮮各地に供給してゐる代價は一枚四十錢もしてゐるが沃溝郡には一戶で二千枚も織る農家がある

洛東江の鮎(昌成)

慶南洛東江の上流怡封と鎭南橋附近は鮎の產地として有名であるが怡封は網漁に適し鎭南橋附近は釣人の遊樂地とも稱すべく今鮎は寸一寸と太つて漁人の心を唆つてる本年の鮎相場は大一尾十錢中七錢小五錢で前年より四五割高であるそれでも競ひ合ふ盛況で中々手に入らぬと云ふ

朝紡地盤工事(釜山)

京城の朝鮮紡織は釜山鎭に於ける朝鮮紡織會社工場敷地の地盤工事を受負ひ不日着手の筈である地盤工事は平均四尺餘の埋立をすると云ふことである

僞造紙幣再現(群山)

最近群山市內に百〇五號五十錢僞造小額紙幣が再び現はれた而も其の僞造紙幣は頗る巧妙の所がすつて居るだけで其他は頓と巧妙に出來て居た兎に角百〇五號の紙幣は注意が肝要である

擴張後の『朝日』(大邱)

『朝日』煙草が勦もすれば南鮮各地の市場に於て拂底を告げる爲め東亞煙草會社大邱分工場では工場の規模を擴張し製造能力を增進することゝし昨今工事を急いで居るが一まづ第一着手として從來の人力作業を電力に改むる事とし新に十馬力の電氣發動機の据付けを了り各機械の運轉裝置も全部完成した目下は電氣會社の都合で三馬力の電力を使用して居るが九月頃からは十馬力の電力を充分送電する筈であるので右工場の增築工事も夫れ迄には完成する見込みであり又目下の本工場は新築家屋に移轉し又一部倉庫として工場內に入れある諸材料は全部新築倉庫に移し其の空室を改造して工場作業室とするから工場作業室は現在より甚しく擴大される譯で作業能率も一層增進する譯である即ち右工事完成の曉では目下朝日一日平均七十萬本內外の製出が百萬本位出來る勘定である

米穀商の美擧(釜山)

釜山府米穀同業者一同は申合せ米價昨今の昂騰に際し一般府民の生活安定を計る爲自今米價の如何に昂騰するとも石四十五圓以下の値段で販賣すると決議し小賣は廿五日から實施したが來客持の非ごいつしよから

東拓資金充實
外債內債續發

東洋拓殖會社の外債につき聞く所に依れば同社外債は紐育ナショナルシチーバンクとの間に協調成立遠からず輸入し得べし總額二千萬圓利子は年六分なれど爲替關係諸手數料印刷費等を差引けば六分七八厘となるべく又同社は右外債以外東京紅葉屋銀行の手を經て內債五百萬圓を發行する事となり居り又機を見て新株の第二回拂込をも徵するもの、如きにつき同社の資力は極めて豐富のものとなるべく各方面の活動は一層鮮明になるに至るべしと期待さる

各地最高溫度
三日午後二時測定

▲釜山 七十九度五分、朝來東北風、雨激しく降り氣溫頓に低下す
▲淸州 八十五度、曇、時に微雨あり
▲木浦 七十六度三分雨
▲群山 八十五度、曇時に微雨あり
▲大邱 七十九度一分、朝來雨
▲大田 八十三度、正午前四時頃より雨到れるも少量、曇天
▲鳥致院 八十二度、東南の風曇、雨を催す
▲平壤 八十四度、曇、雨模樣なり
▲鎭南浦 八十九度、西北の風晴
▲安東縣 八十六度五分、朝來雨、後屢々微雨到る
▲大連 八十九度

木炭在荷薄

京城に於ける薪炭は昨今の不需要期に拘らず卸値根炭七貫俵一圓五十五錢並に十貫八十五六錢にて前途下落は望み難しと唱へ居るが原因は石炭昂騰の影響及山元に於る人夫賃高の爲新炭共に其採出を手控へ居るに依るが如し而して本年三月頃の最低時に於て例の騷擾問題の爲め出廻り遲くなり當時の安値を買取りたる向きも少く其後買込みたる手筋殆んど無く寧ろ在荷薄なり居るを以て本年冬期に於て貨車の配給圓滑を得ざれば或は意外の昂騰を呈し昨年冬期に於ける苦き經驗を繰返すことなしと言ひ難く今より炭價調節を策するの要ありと說く者あり

取引所大商勢

七月中仁川米豆取引所に於ける期米賣買は十四日後場以降手數料倍額引上の結果商勢衰ふべしとの豫想ありしも相場の波瀾甚だしかりし等の關係に未曾有の商績を示し出來高總計五百七十四萬五千六百石にして一日平均約二十四萬石となり之れを前年の同月に比するに三百萬石乃ち十二割の激進を來し居れり此の破天荒の賣買高には市場關係者も案外の感を抱し居れり

鮮銀券膨脹

朝鮮銀行券は諸物價の騰貴財界の膨脹につれ漸次發行の增大を來し居れるが二日の發行現計は一億一千二百萬圓を示したり同行にては最近の發行增を限外によらず全部正貨準備によりつゝあり

木村軍經理部長

經理部長木村重行氏は三日午前十時釜列車にて來釜五日迄滯在憲兵隊其の他の會計檢査を爲す(釜山特電)

人事消息

▲和田俊氏(鐵局道監理課長) 三日夜釜山上陸十一時發列車にて北行歸任(釜山特電)
▲寺島利久氏(釜山府事務官) 府及び府學校組合起債の件に關し總督府に出頭の爲め三日夜十一時發北行(釜山特電)
▲大谷正之助氏(元山稅關長) 三日入城浦尾へ
▲猪野三郎氏(東京鐵道通信社理事) 三日夜入城浦尾へ
▲津村成北技師 三日朝退城
▲林義雄氏(工兵大尉) 三日夜入城不知火へ
▲久我釜山鮮銀支店長 三日退城
▲林茂樹氏(度支部事務官) 令兄病氣危篤の報に接し鄕里廣島縣比婆郡東城町へ歸省中なるが令兄は終に死去せりと

鳥瞰錄

總督府囑託中井理學博士は過般來朝鮮の稿柏調査の爲め各地視察中の所▲去る三十一日歸東の途次下關に於て關門日々新聞記者に語つて曰く▲朝鮮騷擾の結果憲兵制度廢止など說く者があるが▲實際朝鮮內地を旅行して見ると憲兵の廢止所かモツと憲兵の力と數を增して貰ひ度い位だ▲何故かと云ふと近來奧地では鮮人の鼻息が非常に荒くなつて▲巡査の云ふことは更に聽かず武裝した憲兵の姿を見て始めて云ふことを聽くといふ狀態で▲若し此の際憲兵でも全部廢止されたら安全に朝鮮奧地の旅行をすることが出來なくなる▲今日朝鮮奧地の旅行が安全に出來るのは全く憲兵のお蔭であつて▲憲兵廢止を唱へる者は朝鮮の實狀を知らざる者の愚論と云ひたくなると說いて居る▲博士は內地に居る人とは云ひながら朝鮮に來れば何時も奧深い地方を旅行する人であるから奧地の事情には詳しい人といはねばならぬ

京日案內
[illegible]
▲電話賣買並ニ金融 ▲不動產賣買紹介及管理 旭町一 信託業 小林德治 電話一八〇九
藥局生(男女)看護婦及研究生 數名採用す 姓名仁川京日[illegible]
番外
支店長 外交員 數名募集 經驗の者月收百圓內外 履歷書携帶あれ 龍山漢江通十一 組合[illegible]
電話番號變更 二參參五 京城本町三丁目三九 下村泰造
花アラレ 朝鮮餅 滿洲公主嶺 職人雇入度し 花園町 楯田商店
電話讓物アリ(番號八六六番) 御入用ノ方ハ電話一八八二番へ
▲女中雇入たし 京城南大門通五 廣岡藥房
作男入用 本人直接來談あれ 果樹栽培に經驗ある夫婦者 仁川新町北浦[illegible]
進呈 特許商標の手續及出願要項を詳說せる特許の栞を希望者に進呈す 大阪市道修町御靈筋角 石特許事務所

致富秘訣 金を殖やす法 (無代進呈)
世の中に金を殖やす法はいろ〳〵あるが其の原則に遡れば何れも極めて簡單なものである。先づ第一は金其自體を殖やす法で[illegible]
職業の人でも秘密にその職業の傍ら從事し得られ一躍して巨萬の財產を作り上げることが出來る。併し一口に株券と云つても何株券を何圓位で買つて宜いか、又其買つたらば何圓位に上らば賣らねばならぬといふ事まで知らなければならぬ[illegible]

ミシン針 同附屬品 卸商
神戶市兵庫川崎町 網市商店 電話本局一九〇番

土木工學 生徒募集
第六拾參回新學期を開始す 九月一日より ○規則書入用者は二錢郵券添へ申込まるべし
明治十九年創立 東京芝區新錢座前 攻玉社工學校

旭印わた 定價表
フトン綿壹貫匁ニ付
特印 六、四〇〇 一印 五、六五 四印 四、八五
別印 六、一〇〇 二印 五、四五 五印 四、七〇
上印 五、九〇〇 三印 五、二〇〇 六印 四、三〇〇
市內わた店雜貨店ニ販賣ス
京城北米倉町 旭商會 電話三壹二九番

醫化學諸器械一式
Ⓚ 藥種賣藥卸商
仁川本町 北島藥店 電話一三四、振替京城六七番
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

▲保險金受領廣告
一金五百圓也 被保險人 白坂伊太郎
右ハ豫而共保生命保險株式會社ト保險契約致居候處先般死亡候ニ付當地代理店林秀輔殿經由頭書ノ保險金正ニ受領致候茲ニ同社ノ確實ナルト支拂ノ迅速ナルトヲ相認メ此段受領謹告候也
大正八年七月 論山郡江景 白坂たつ

池田季雄
イケダ小兒內科病院
京城三越吳服店前ヘ入ル旭町四丁目 電話(病院二二三四番 自宅三〇〇番)

クダリはらによし

最上清酒 日本一 マルシン印

ヨほまれ味噌

最上醬油 日本醬油株式會社 京城出張所 電話(二四一番)

……北の後同主部の本州東海るこごあるも各地概ね晴天打續き平年量に達せる過半の地域は中部以北の內陸は平年より三度乃至六度に上り東岸地方は前日に比し龍山以北の內陸地方は一〇度以上の高溫を示し……

水源地より龍山へ

第四回婦人見學團

五百の婦人連嬉々として

‖夏の見學には相應しい催し‖

纛島水源地を見學すべき我社第四回婦人見學團は豫定の通り三日の第一日曜日に催された。今回の催しに就ては豫て京畿道水道係りから特に歡待の方法を講じて居たのと一つは日曜の關係もあつて團員は

約五百名に 上つた團員の參集場所は往十里電車終點で參集の時刻は午前九時と云ふことになつて居たが八時頃には早くも二百以上の參集を見たので取敢ず先發團として水源地に向け出發し遲著の二百餘名は定刻九時に整揃が出來たので先發團の後を追うて往十里を發した。往路は普通約三十町であつたのが水道係りから特に工事を施した捷徑に依れば僅十五六町に短縮されるので團員一同歩行も輕く嬉々として

水源地に著 し江畔の綠陰下に設けられた休憩所で暫らく打寛ぐことになつた。休憩所には洗面所、麥茶接待所を設け、化粧鏡並に説明用模型等萬端の設備あり、二臺の蓄音器を以て團員の機嫌を伺つたり、菓子包みを頒布したりして團員を喜ばせ、十一時少し過ぎには一同睦まじく持參の辨當を開き、間もなく辨當が濟むと秋田水道主任から水及び水道に關する平易簡明な説明があつた

人間は產湯を使つて死水をとる迄厄介になる

即ち人間は產湯を使つてから死水を採るまで水の厄介になるこか、京城市民が各々

バケツ一杯 の水を費つても一日に八千石の水が要るから少しの手加減で斷水の憂目に遭はなくとも濟むとか、過般橫濱の大火は斷水の爲めだとか井戸の水と水道の水の衛生上に關する比較だとか頗る適切な例や理論を以て説明を加へた。其から一各係員の先導で實地見學に移り、取水口、吸揚井、藥品混合池、沈澱池、淨水池、機關室、配水池、量水器室、水管等隈なく見學し終つて愈々漢江下りを催すことになつた

水の如き清風に暑さを忘れつゝ漢江を下る

團員を十二班に分けサクラビールから滿飾を施した十二艘の船に分乘し、別に司令船及び救護船汽艇を以て救護其の他の任に當らしめ水源地を離れたのは正午を過ぐる半時であつた。船は

舳艫相銜み 或は舷を噛ね、爽涼水の如き江風に吹かれ乍ら兩岸の風光を賞し又歡談笑語に時を忘れ、舊龍山に著いて解散したのは午後四時であつた。

見學團畫報

（左上）水道係りが見學團の爲に特設した道路を行くところ（左下）涼しい休憩所で晝食（右）秋田水道主任の説明振り

朝香宮家 御慶事

姫宮御降誕

朝香宮妃殿下には豫て御姙娠中の處三日朝目出たく姫宮御誕生あり御母子共に御健全なりと承はる（東京特電）

寛城子事件 奉天で交涉

報告書到著す

寛城子事件調査の爲出張中なりし赤塚奉天總領事、濱面參謀長、森田領事等は一先づ協定終了し一日外務省に報告書到著したるが何分にも現場にありし日支兩國兵は多く戰死しだるを以て當時の事件の眞相を探るに困難なりと尚ほ右事件は奉天にて赤塚總領事と張督軍との間に交涉を開始さるべしと

我國の勞動者は 未だ目が醒めない

勞働八時間制と日本 その効果如何が疑問

成金の跋扈は忌まはしい事には違ひないが去りとて我が邦のやうに猶野を擧げて勞働者の優遇を口にして居るといふのは果して何うであらうか勞働者の地位の向上固より結構だが我邦の勞働者のやうに勞働する時間と喫煙時間とその間に截然たる區別のなきものにあつてはその

能率に於て 非常なる差を來するものと云はねばならぬ殊に植木屋などになると一日中遊んでゐる時間が長いか仕事をしてゐる時間が長いか殆ど解に苦しむ次第であるそれで居て人並の賃金は物價騰貴に比例して上つて居るこれが若し國際勞働規約のやうに

八時間勞働 と云ふことになれば殆ど働く時間はなくなりはすまいか其れに西洋勞働者が勞働時間を八時間に制限せしには大いに意味があるが我邦の狀態にては働くのか遊んで居るのか殆ど區別が付かないから其の能率の點に於て非常なる逕庭を來さなければならぬ故に此

問題の解決 と云ふことは餘程困難ではあるまいかと思ふ故に勞働問題の解決と云ふことも我邦の事情を外にする事は出來ないのである左なくては徒らに勞働者の保護といふことに沒頭するならば漸く發達しつゝあつた我化學工業の前途は實に寒心に堪へざるものがあると云はねばならぬ所謂

角を矯めん と欲して牛を殺すものであるからその點は飽迄も注意しなければならぬと思ふのである（某氏談）

内鮮同化の大恩人

福澤諭吉翁の憶出

慶大教授 田中一貞氏談

慶應山岳會會長で野球部長たる同大學教授田中一貞氏は福澤翁と朝鮮との關係に就て語つて曰く『福澤先生は明治時代の文化の先覺者として一般の事業に腐心された關係に對しては單に

研究が深 かつた許りでなく進んで計畫の一部を實行して居られる先生は明治十二三年の頃から朝鮮は清國の屬邦として存在せしては六ケ敷い立派な獨立國にすか或は帝國の保護下に入るかせねば將來安全を保つ事は到底不可能であると云ふ事を屢々口にされ朝野の間に熱心に説いて居られた又先生は朝鮮に新聞の必要を認められ

漢城新聞 發刊の計畫を立てられた日本字に諺文の假名を附して内鮮同化の宣傳に努め之に依つて必ず内鮮の融和を期し得ると云ふ確信から約四十年前に此計畫を立てられたのである夫で先生は先づ今泉氏井上角五郎氏等を漢城即ち京城に派して此計畫の實行に努めさせたのである今日でこそ朝鮮にも多數の新聞が刊行されてゐるが

其の時代 無知蒙昧な朝鮮に對して斯んな計畫を立てられるなど實に其識見に感服する次第である先生の考へが斯うであるから當時朝鮮の志士であつた金玉均其の他の亡命客は遁れて日本に入ると極つて先生を訪れるのが常であつた

梁山泊と 云つても過言でない位に先生の家は此等亡命の朝鮮人で賑はつたのではなかつたのである斯の如く先生は内鮮の融和を企圖され東の朝鮮と日本とが相依り相濟けて共々世界に雄飛する事を理想とされてゐたから内鮮同化が立派な實を結んだ今日地下で喜んで居られるに違ひない』

安東縣の喜雨

農民の歡喜

去月十四日以來一滴の降雨無く炎暑益々加はり去る二日の如きは室内にても百度の氣溫を示したるところあり水道水源地涸渇し夜半斷水を爲し來りしが三日午前四時半頃より待望の豪雨到り人々蘇生の思ひあり殊に地方の農民の歡喜其極に達したりとされ尚數日降雨續かば水道の增加も來すに至らず（安東特電）

金源丸沈沒

全南麗水

釜山本間漕運部所有汽船金源丸は釜山より雜貨品を積込み航行中三日午前二時統營沖に於て巨濟丸と衝突し船體壞れ沈沒せり急報に接せし山本同漕店主は急遽同地に向ひしが船體引揚費其他修理費は約二千圓以上を要すべしと商品の損害價額は約一萬なりと云ふ同船は昨年七月以降三回遭難して遂に遭沒したる者にて實に惡運の船といふべし

釜山荒模樣

絡聯船遲著

釜山地方は三日朝來降雨あり午後に至り勢ひを加へ風さへ伴ひ海上は稍荒れ氣味にて三日夜入港の聯絡船對馬丸も是れが爲め豫定より稍遲延して入港したるが目下のところ格別水害等の模樣なく地方民は一般に喜び居れり（釜山電報）

電車に轢殺さる

内地人女兒

三日午後五時半頃市内死南洞街路に於て本町方面行き第五十二號電車（車掌二五號孟龍松運轉手一三八號徐鎭周）進行中線路上に三四歳の内地人女兒餘念なく遊戲しつゝあるを運轉手が認め頻りにベルを鳴らしたるも一向氣付かざるものゝ如く運轉手は驚き電車の進行を停めんとしたるも間に合はず惰力の爲めアツといふ間に女兒は轢き倒されたるより大騷ぎとなり警官其他出張取調べたるに右の女兒は市内死南洞一〇九眞田正平長女竹子（三つ）といふものなるが竹子は電車の車輪に觸れ頭部腹部其の他滅茶々々となり見るも無慘の即死を遂げたり當時竹子の父親は現場附近にあり竹子を遊ばせ居りしが電車のベルに驚き駈付け竹子を救はんとして自分も負傷したりと

末恐しき小僧

原籍福岡縣朝倉郡杷木村大字白木生れ當時大邱府京本町豆腐屋高藤角造方雇人高藤□吉（十七）は去る七月廿二日の午後二時頃家人の睡れる隙を窺ひ押入中より現金百五十二圓五十九錢在中の財布を窃取して逃走し其夜は八重垣町妻樓に登樓し柄にも似合ず大盡風を吹かして娼妓の總揚をなし飲めや唄への豪遊をなして九十三圓廿五錢を費消し殘り五十九圓卅四錢にて二十三日午前三時大邱驛に出で内地に高飛せんとする處を大邱署の手に取押へられ取調べの末檢事局に護送されたるが窃盜として公判に附せられたり

○延丁採用 高等法院にて内地人延丁一名を採用する由に付希望者は申込むべしと

避暑地投票

第十二回發表

七百七票	釋王寺	六十五票	冠嶽[illegible]
五百十六票	水安堡	五十三票	金剛山
四百七十七票	元山	四十三票	裡[illegible]
二百九十三票	儒城	四十一票	扶[illegible]
二百九十一票	水原	三十八票	溫[illegible]
二百五十六票	黃海 正方山	三十一票	統[illegible]
百五十一票	馬山	二十一票	內藏[illegible]
百二票	海雲臺	十九票	俗離[illegible]
九十五票	東萊	十三票	釜[illegible]
八十票	仁川	十三票	劍拂[illegible]
六十九票	寧邊	十票	公[illegible]

（十票以下）光州、木浦、平壤、逆山、九味浦、夢金浦、密陽、松島南原、淸津、全州、慶北周王山、濟道、開城、摩天山、平康、古群山

西伯利紀行

一高旅行班 尾間忠雄

第三信 浦鹽へ（上）

團體旅行としての第一日目は來た今日七月十七日午前九時を以て愈々旅行團の編成となる。

第一日 天氣は良いが蒸々と暑い日だ、朝食後未だ足りない藥品菓子等を買調へる、十一時には何時出發しても良い樣に準備が出來た十一時より晝飯。暫らく內地の飯が食へないと思ふと何だか飯にも執著が起る、餘り甘くない晝飯に有付いて只出發を待つ。兎角若人の心は前途の希望に向つて躍る。一時十五分前人員檢査をして總勢四十名（內教授三名尙四名の先發は前記せり。よつて全員四十四名なり）は埠頭に向つた。豫定によれば乘船は色丹丸の筈であつたが埠頭には新高丸が待つてゐた我々は一旦埠頭にあるミカド軒ホテルの階上にて林田氏よりアイスクリームの御馳走に與る。暑かつたのと階上よりの眺望佳絶なるために特別に甘い樣な氣がした。

二時半に乘船し三時十五分前に愈々錨を揚げた。エンヂンの響き水夫のかけ聲共に海の氣分が現はれて勇ましい。前途は如何に憧憬に滿ち希望に輝くとも故國を去る時には何となく淋しい感じのするものだ。本船は總噸數二千五百六噸速力十節十年餘り前にグラスゴーのラッセル會社の製造に係るもので大阪商船が買つたんださうだ。昨年八月以來御用船となり宇品を出帆し門司、敦賀、浦鹽を往航し復航は浦鹽、門司、宇品と行くのださうな。一等十六名二等十名三等八十八名を收容することが出來る。傭船料は一箇月噸當り十七圓半ださうな。

丁度自分等と共に參謀本部の星野少將も乘船されて色々と便宜を與へて下さつた自分等のは勿論三等待合だが陸軍大學の學生等が丁度一箇月半位前に我々の與へられた室に乘つて行つたんださうな。かくて四時十五分前には右の岬を通過し五時には左方の岬を通過し六時半には故國は全く雲煙中に沒した。夕飯は西時半だつたが蠅の多いのと飯の色の黑いのには恐れをなした。事務長堀氏は大正六年の東大法科出だ。色々と便宜を與へて呉れ、今夜は皆に特に棉羊羹一箇を寄附して下さつたので先生と生徒學生三等室に集まつてコンパを開き各自の名前披露をやり互に親睦を計り寮歌を怒鳴つて大いに一高の寮的氣分に耽溺す。星野閣下も上甲板から眺めて居られた。海は鏡の上を行くが如く靜かだ。下弦の淋しさうな月が日本海を照して誠に廣漠たる海軍氣分を我々に與へてくれた。十時過ぎ床に入る。

飛行將校自殺

佛國より我國へ派遣されたる 原因は秘密に附せらる

特別飛行術練習の爲め佛國より我陸軍航空隊に派遣されたる飛行隊一行中のラジン少佐は一日午前九時四十分橫濱オリエンタル、ホテルにて短銃自殺を遂げたるが遺書一通ありたり原因は絶對秘密に附せらる（東京特電）

野球コーチ（上）

一、打者に就て

慶應野球部 腰本監督談

最近非常な發達をなした野球に關して自分等の研究と經驗とを親しく諸君の前で御話し申上げることは自分の最も光榮とする所である初め、自分は運動場で各野手に就いて共に研究する考であつたが市中見物の都合で其餘裕がなくなつたので止むを得ず茲で御話申上げる次第です勿論斯と云ふ程の準備がありませんから座談的に氣付いた事を御話致しませう。

攻撃精神 を以つて敵と相戰ふ以上野球の唯一の攻撃である打撃は特に一層の研究が必要でありませう先づ打者は球をドノ邊で打てば好いかと云ふとベースの三尺位で球がバットに當るのが一番善いようであるそしてバットは水平に振りバットが球に眞直當るやうに心掛けるのが必要である打者がボックスに立つた姿勢はボックスの中央前方に立ち股は僅かに開いて體の重心が兩足の前方に平均にかゝるやうにして打つ場合打つ方の足に重心がグツと落つるやうなのが一番好いと思ふそして打球は幾分前に進み直球は後に下つて打つのが好い次に打者は

投手の球 に對する豫期をして打つ方が準備も出來正確に當るものである然し此豫期に就いて先輩の福田、小山君などは不可だと云ふのであるが三宅君は豫期が必要だと云ふてゐる自分は永い經驗から矢張り此豫期が是非必要であると確信して居る次に打手の左右に就いて申上げると右打手は普通行はれて居るが實際は左打手の方が種々の得があります先づ左のボックスは一壘に近いので先づ第一に一壘へ走る場合一間以上利益であり第二に曲球が打易い若し現在右打者で當らない人や初歩の人は寧ろ左打者を練習した方が得策であるバットの長短は使用者の好みですが細長なものより太短のものは

打撃面が 多いバットは重心のある部分で球を打たぬと安打は出來ないものですから此意味で短く太いものが善いと思ふ次に其輕重は輕いものは振るに樂ですから腕力の弱い人は輕いものを使ひ強い人は重いのを使用するのが適當である、バットは球に當てたばかりでは不可ない幾分は打たねばならぬのですから左手は緊く握り占め右手は添にてあるやうにすれば球が當る刹那に全身の力が其所に集まる丁度擊劍で竹刀が面を打つた刹那と同じです

練習方法 として水平に張つた綱の上でバットを水平に振る練習を日々百遍位宛やるとバットが自由に振れるやうになります當地では一般にフリーバッテングを尊重してゐるやうですが効果から云ふとレギュラーバッテング即ち試合と同じやうな陣立で投手は試合と同じ氣合で投げた球に對して打擊の練習をやるのが最も必要だと思ひますそれが當地の野球家一般の御一考を煩したい事項の一つであります

みだれ咲き

第百七回

島山碧波作　森田久畫

早稻田署にまだ留置され、恐ろしい犯罪嫌疑で取調べられて居た牧野が來訪したと云ふ執事の知らせを受けると、二階の老伯は非常に喜んで此室へ通させた。

『お伊代さん、お聽きの通りで本人から恐しい話を聽いて下さい』

俠婦お伊代は山中家に取つて忠義無類の牧野を襟を正して迎へた。

『あら若樣ッ』

暫く日光を浴びなかつた龍雄の面は土のやうに蒼かつた、彼は何の用事あつて二階堂老伯を訪れるのか知れぬが、此處に見知らぬ二婦人と龍雄が居たのに驚愕の眼を睜るのであつた。

『牧野、久し振りじやのう』

老伯は滿面に笑を浮べて此の青年を迎へた。

『御前樣、私は殘念でございます』

多感の牧野は龍雄の無事な姿を眺めて喜んだらしいが、後の言葉を續け得ないで涙に咽ぶのみであつた。

さうして、懐より取り出した一通の新聞を老伯の前へ差し出た、其の新聞が彼れと共に家出したと云ふ記事でもあると知つて居るのは、展げぬ內から判つて居る。

『牧野、お前には奇ッ怪な嫌疑が掛つて居たさうじやが、モウ青天白日の身となつたか』

斯う云つて諷す老伯の言葉は優しかつた。

『御前樣、署長から悉しいことを聽いて參りましたが、いろいろと御配慮を煩はしまして恐れ入ります』

彼れは老伯が直接間接に早稻田署の署長根岸警視に對して運動もしたり、寃罪であることを主張して呉れたことを感謝した。

『イヤ禮を云はれると反つて恐れ入る、然し龍雄も邸を出た後に於ていろ〳〵苦勞をして此の御婦人に非常の厄介になつて居るんだ』

老伯は要點だけを摘いつまんで牧野に話した。

『まア左樣でございますか、一方ならぬ御配慮に預かりまして難有うございます』

牧野は改めてお伊代に禮を述べた、さうして花香が其の昔山中家の小間使であることを聽いた。

『然し御前樣が御歸邸なさらぬのはどうしたのでせう』

『さア夫れが不思議なんだ、夫に出宮さんも昨今は東京に居ないさうじや』

『妙ですなア』

牧野は依然として主家を蔽ふ黑い雲が段々擴がるのを知つた今の場合第一に心に掛るのは令孃操子の行方であるから。

『御前樣、龍雄さま夫婦が行方を隱したやうなことはありませんでせうから、私は奧樣と御相談を致しましてお孃樣のお行方を探すやうに致します』

老伯は一寸考へて面を上げ『其の事に關して俺の口から斯うしろとは云へ無いから、お前の考へ通りにしなさい』と云はぬ許りに默つて居る、老伯は不言不語の裡に牧野に萬事を委任するのであつた。

『夫から是れは甚だ輕少だがお前の小遣ひにして呉れ』

『難有うございます』

老伯から淨財を惠まれた牧野は後ちの打ち合せをすると共に、お伊代と花香の三人で初江の避れて居る市川へ急いだ。

『本當に御心配ですわね』

お伊代は忠僕者牧野の心に感動して市川に初江夫人を訪れた素より深い交際などは無いが、一片の同情は今や白熱的に不幸薄命の夫人初江を市川へ訪れたのであつた。

『此處でございます』

家の前に起つた牧野が表の戸をガラッと開けると。

『誰何でございます』

近所の女房が夫と知つて出て來たが、どうやら初江夫人は病床に苦しんで居るやうであつた。

新刊紹介

▲旅から旅へ（石井滿著）巻頭に於て曰く『宗教や自然の力を借りて人と人とがスムースに融和し提携し和樂し切磋して行く事は人の理想であるが其理想が浮世にして得るに難ければ私は潔くしても吾人の生活を捨てゝ自然の懐に抱かれむが爲めに旅から旅をさまよふ』と。本書は斯くして自然美を讃美するの一篇である、東京附近を始め、日光、鹽原、京大阪、奈良須磨殆んど日本全國の名所と云ふ名所の旅行記を美しい調ほひのある筆致で書き記してある、机下に据つて讀むも妙、旅にあつて讀めば更に趣味を増さう（一圓二十錢東京市神田區駿河臺鈴木町十六佐藤出版部）▲佃天吉松（伯山演）曲折波瀾に富んで居る游俠佃天吉松の傳記を伯山が口演したもの、流石に數十年間舌頭で洗錬されて來たものだけに捨て難い味がある（四百七十頁、四十八錢東京市日本橋區本町博文館）▲新演藝（八月號）各劇場の劇評を掲載せた口繪と云ひ精選された記事と云ひ、演藝雜誌中の白眉であると云ふを憚らない。[illegible]飲みながら（岡村柿紅）劇場茶話（小山內薫）可笑しかつた劇評家の旅行（原卅々園）[illegible]（吉井勇）明治座の一本彡[illegible]がある（六十錢[illegible]

憂ふ可き思惑熱

騰價の昂騰際限のない所から商

百二十八萬三千五百餘圓の増加
を示して居るが此の増加したる
ものは外装、[illegible]

に看取さる、が内地商品市價の
昂騰は一方需要の手控を生ずる

のを以てしても疑いない事實で
ある、据て、加ねて内地市價の
[illegible]する時は[illegible]輸入の[illegible]

の高値を維持する事となれば萬
々一般の思惑は旺盛を極むる事

振ひて物資の消化力を喪失して
倉庫の在荷のみ堆積するに至ら

十錢の小麦粉が忽ちにして六圓
五十錢の高値を唱へ更に再び五
[illegible]するが如く[illegible]

爲めに非買の同盟を形成する事
となるのである市價の暴騰に乗